

## 子どもたちの教育環境に関するアンケート調査 集計結果

### I. 調査の概要

#### 1. 調査の目的

市立小・中学校の再編にあたり、教育環境及び学校再編についての実態やニーズを把握することで、学校再編を含めた本市の学校教育充実のための基礎資料とするもの。

#### 2. 調査設計と回収状況

##### (1) 調査の設計

調査対象者 市内の幼稚園・保育所等及び市立小・中学校に通う児童生徒の保護者から、児童生徒の発達段階に偏りがないよう選定した以下の各学年を対象に全数調査を実施（計9,386人）

中学生	市立中学校 2年生
小学生	市立小学校 4年生
未就学児	3歳児 ※以下の施設に通園／通所する幼児 市立幼稚園、市立保育所等 私立幼稚園、私立保育所等

配布・回収方法 幼稚園・学校等を経由し配布・回収

調査期間 令和4年11月1日（火）～8日（火）

##### (2) 有効回答数と回収率

本アンケートは、9,386人に配布し、7,958人（84.8%）から回答票を得た。

配布数	回収数	回収率
9,386通	7,958通	84.8%

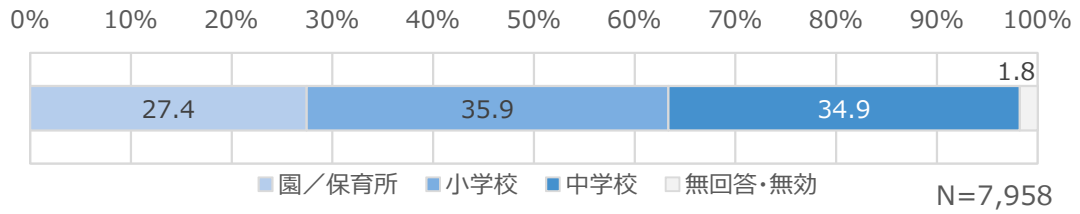
#### 3. 調査結果の見方

- 「N」は該当する質問・項目の集計母数を示す。
- 百分率（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、合計が100%にならない場合がある。
- 「SA（シングルアンサー）」は最もあてはまる選択肢1つのみを選ぶもの、「MA（マルチアンサー）」は設問の指示にもとづき複数の選択肢を選ぶことができるものを示す。

#### 4. 回答者の属性

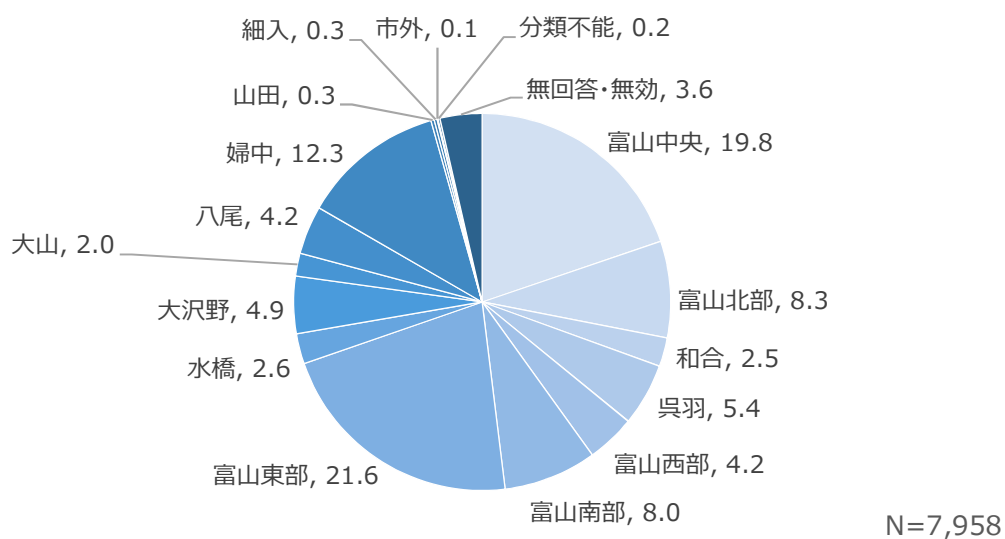
##### (1) 子どもの通園（所）・通学先種別

選択肢	N	%
園／保育所	2,183	27.4
小学校	2,858	35.9
中学校	2,777	34.9
無回答・無効	140	1.8
回答者総数	7,958	100.0



(2) 地域生活圏

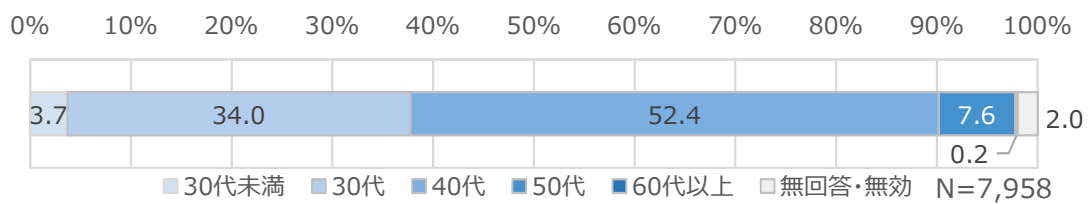
選択肢	N	%
富山中央	1,574	19.8
富山北部	659	8.3
和合	196	2.5
呉羽	428	5.4
富山西部	332	4.2
富山南部	635	8.0
富山東部	1,722	21.6
水橋	207	2.6
大沢野	391	4.9
大山	157	2.0
八尾	331	4.2
婦中	978	12.3
山田	22	0.3
細入	20	0.3
市外	5	0.1
分類不能	15	0.2
無回答・無効	286	3.6
回答者総数	7,958	100.0



※小・中学生の保護者は子どもの通う小・中学校、未就学児の保護者は居住地の郵便番号による。

### (3) 年齢

選択肢	N	%
30代未満	297	3.7
30代	2,703	34.0
40代	4,173	52.4
50代	604	7.6
60代以上	18	0.2
無回答・無効	163	2.0
回答者総数	7,958	100.0



## Ⅱ. 単純集計結果

### 1. 教育環境について

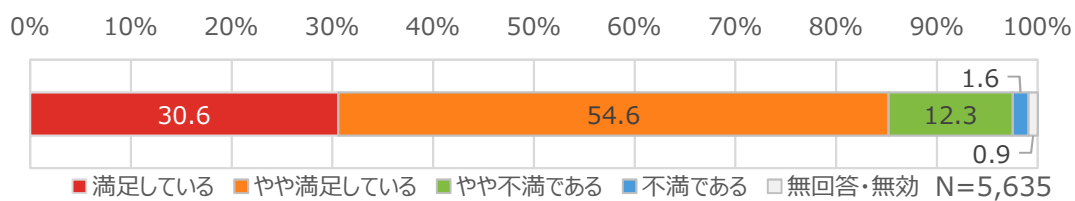
問2 (1) 小・中学生の保護者にお聞きます。

(未就学児の保護者は、問3にお進みください。)

お子様が現在通学している学校について、学習面、生活面、通学面などを総合した満足度を、選択肢から **1つ** 選んでください。

- ・ 全体の約85%の保護者が「満足している」、「やや満足している」と回答した。

選択肢	N	%
満足している	1,724	30.6
やや満足している	3,078	54.6
やや不満である	693	12.3
不満である	88	1.6
無回答・無効	52	0.9
回答者総数	5,635	100.0



問2 (2) 小・中学生の保護者にお聞きます。

お子様が現在通学している学校について、各項目であなたの考えに近い選択肢を、

**1. そう思わない～4. そう思う**の中から **1つ** 選んで○をつけてください。

- 全ての設問を通して、概ね6割～8割の保護者が、「そう思う」、「少しそう思う」と回答しており、現状を肯定的にとらえている傾向がみられた。  
ただし、以下の選択肢については、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した保護者が比較的多くみられた。

**【約40%が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した項目】**

子ども同士の間関係に配慮したクラス替えができる

PTA活動等において、保護者1人あたりの負担が少ない

**【約30%が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した項目】**

児童・生徒にあった多様な学習形態がとりやすい（習熟度別学習やグループ学習など）

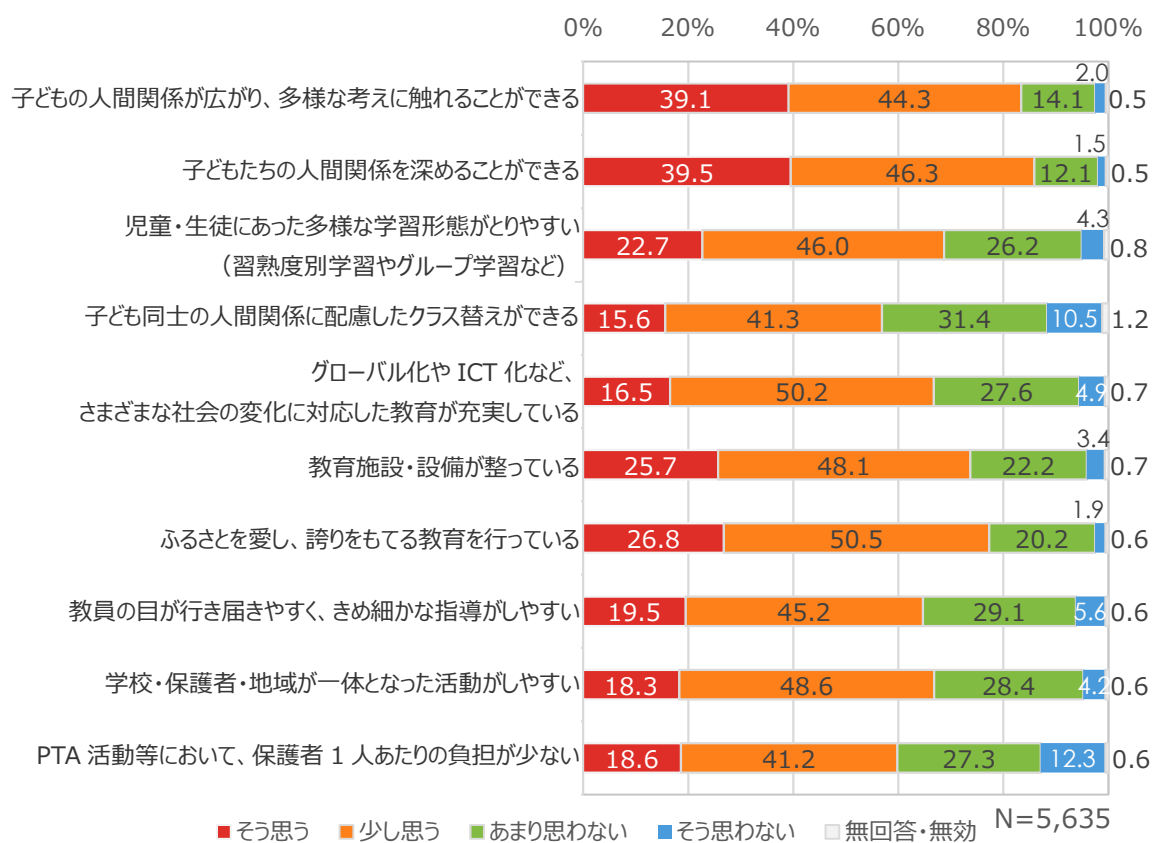
グローバル化やICT化など、さまざまな社会の変化に対応した教育が充実している

教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導がしやすい

学校・保護者・地域が一体となった活動がしやすい

上段：回答者数（N）、下段：割合（%）

項目	そう思う	少し思う	あまり思わない	そう思わない	無回答・無効	回答者総数
子どもの人間関係が広がり、多様な考えに触れることができる	2,203 (39.1)	2,496 (44.3)	795 (14.1)	114 (2.0)	27 (0.5)	5,635 (100.0)
子どもたちの人間関係を深めることができる	2,226 (39.5)	2,611 (46.3)	683 (12.1)	87 (1.5)	28 (0.5)	5,635 (100.0)
児童・生徒にあった多様な学習形態がとりやすい（習熟度別学習やグループ学習など）	1,279 (22.7)	2,591 (46.0)	1,477 (26.2)	242 (4.3)	46 (0.8)	5,635 (100.0)
子ども同士の間関係に配慮したクラス替えができる	880 (15.6)	2,325 (41.3)	1,767 (31.4)	594 (10.5)	69 (1.2)	5,635 (100.0)
グローバル化やICT化など、さまざまな社会の変化に対応した教育が充実している	932 (16.5)	2,827 (50.2)	1,557 (27.6)	278 (4.9)	41 (0.7)	5,635 (100.0)
教育施設・設備が整っている	1,448 (25.7)	2,708 (48.1)	1,252 (22.2)	190 (3.4)	37 (0.7)	5,635 (100.0)
ふるさとを愛し、誇りをもてる教育を行っている	1,508 (26.8)	2,847 (50.5)	1,140 (20.2)	107 (1.9)	33 (0.6)	5,635 (100.0)
教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導がしやすい	1,100 (19.5)	2,546 (45.2)	1,639 (29.1)	315 (5.6)	35 (0.6)	5,635 (100.0)
学校・保護者・地域が一体となった活動がしやすい	1,033 (18.3)	2,736 (48.6)	1,601 (28.4)	234 (4.2)	31 (0.6)	5,635 (100.0)
PTA活動等において、保護者1人あたりの負担が少ない	1,048 (18.6)	2,321 (41.2)	1,540 (27.3)	692 (12.3)	34 (0.6)	5,635 (100.0)



問 3 どのような学校にお子様を通わせたいですか。選択肢から **3つ** 選んでください。

- ・ 「どのような学校に子どもを通わせたいか」については、全体では、「教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導がしやすい」(55.9%) が最も多く、次いで「子どもの人間関係が広がり、多様な考えに触れることができる」(55.2%)、「児童・生徒にあった多様な学習形態がとりやすい(習熟度別学習やグループ学習など)」(38.5%) となった。

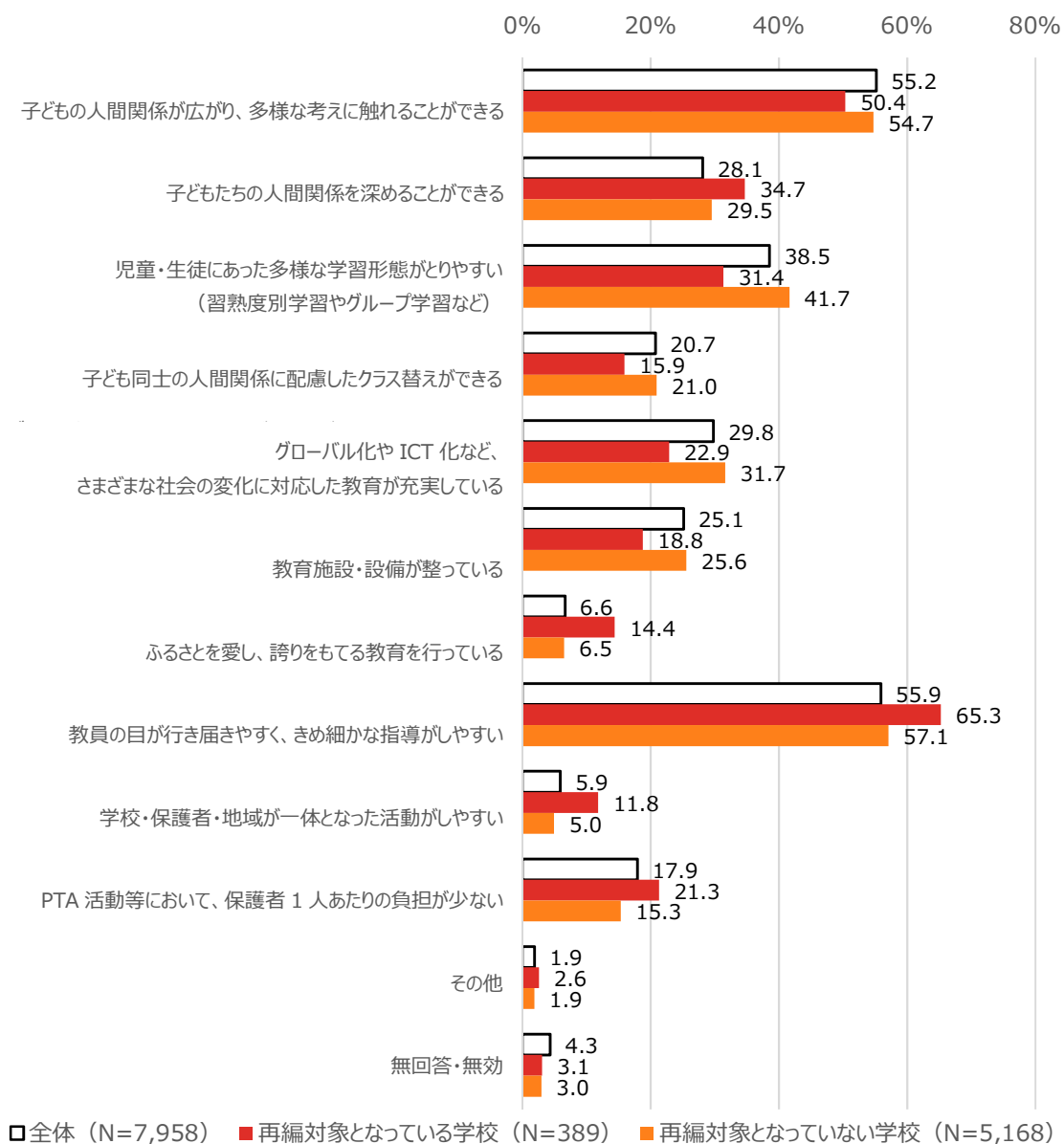
上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢	子どもの人間関係が広がり、多様な考えに触れることができる	子どもたちの人間関係を深めることができる	児童・生徒にあった多様な学習形態がとりやすい (習熟度別学習やグループ学習など)	子ども同士の間関係に配慮したクラス替えができる	グローバル化やICT化など、さまざまな社会の変化に対応した教育が充実している	教育施設・設備が整っている	
全体	7,958 (100.0)	4,392 (55.2)	2,238 (28.1)	3,067 (38.5)	1,651 (20.7)	2,370 (29.8)	1,999 (25.1)
再編対象となっている学校	389 (100.0)	196 (50.4)	135 (34.7)	122 (31.4)	62 (15.9)	89 (22.9)	73 (18.8)
再編対象となっていない学校	5,168 (100.0)	2,829 (54.7)	1,527 (29.5)	2,153 (41.7)	1,083 (21.0)	1,636 (31.7)	1,322 (25.6)
未就学児	2,183 (100.0)	1,278 (58.5)	524 (24.0)	720 (33.0)	469 (21.5)	588 (26.9)	561 (25.7)
無回答・無効	218 (100.0)	89 (40.8)	52 (23.9)	72 (33.0)	37 (17.0)	57 (26.1)	43 (19.7)

選択肢	ふるさとを愛し、誇りをもてる教育を行っている	教員の目が行き届きやすく、きめ細かな指導がしやすい	学校・保護者・地域が一体となった活動がしやすい	P T A 活動等において、保護者 1 人あたりの負担が少ない	その他	無回答・無効
全体	528 (6.6)	4,449 (55.9)	469 (5.9)	1,426 (17.9)	149 (1.9)	344 (4.3)
再編対象となっている学校	56 (14.4)	254 (65.3)	46 (11.8)	83 (21.3)	10 (2.6)	12 (3.1)
再編対象となっていない学校	337 (6.5)	2,950 (57.1)	256 (5.0)	793 (15.3)	96 (1.9)	153 (3.0)
未就学児	116 (5.3)	1,173 (53.7)	153 (7.0)	515 (23.6)	41 (1.9)	127 (5.8)
無回答・無効	19 (8.7)	72 (33.0)	14 (6.4)	35 (16.1)	2 (0.9)	52 (23.9)

- ※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。
- ※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。





(「未就学児」2,183 人及び再編対象分類「無回答・無効」218 人はグラフには非表示)

## 2. 学校再編について

問4 本市が市立小・中学校の再編に取り組んでいることについてご存じですか。

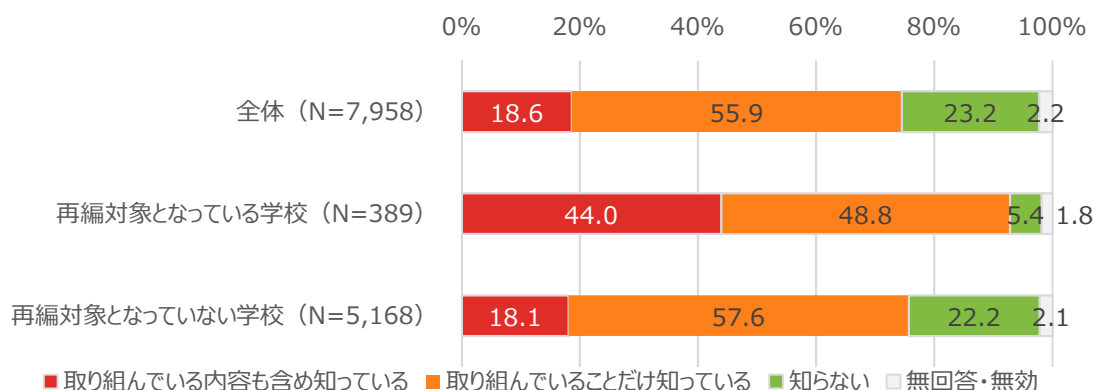
- ・ 全体で最も回答が多かったのは、「取り組んでいることだけ知っている」(55.9%)であった。
- ・ 次いで「知らない」と回答した保護者(23.2%)となり、「取り組んでいる内容も含め知っている」(18.6%)を上回った。
- ・ 結果として、「本市が学校再編に取り組んでいる」という事実は広く認知されているが、一方で約8割の保護者はその取り組みの内容を知らないことが示された。

上段：回答者数(N)、下段：割合(%)

選択肢	回答者数(N)	割合(%)	取り組んでいる内容も含め知っている	取り組んでいることだけ知っている	知らない	無回答・無効
全体	7,958	(100.0)	1,481	4,449	1,850	178
再編対象となっている学校	389	(100.0)	171	190	21	7
再編対象となっていない学校	5,168	(100.0)	934	2,978	1,146	110
未就学児	2,183	(100.0)	350	1,194	627	12
無回答・無効	218	(100.0)	26	87	56	49

※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。

※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



(「未就学児」2,183人及び再編対象分類「無回答・無効」218人はグラフには非表示)

問5 市教育委員会では、これからの社会を生きる子どもたちには、集団の中で多様な考えや価値観に触れ、それらに柔軟に対応し、主体的に学ぶ力や探究する力、社会性や規範意識を培うことが必要であるという考えのもと、少子化が続く中で一定以上の学校規模を確保するために、学校再編を進めることとしています。  
このことに関するご意見を **1つ** 選んでください。

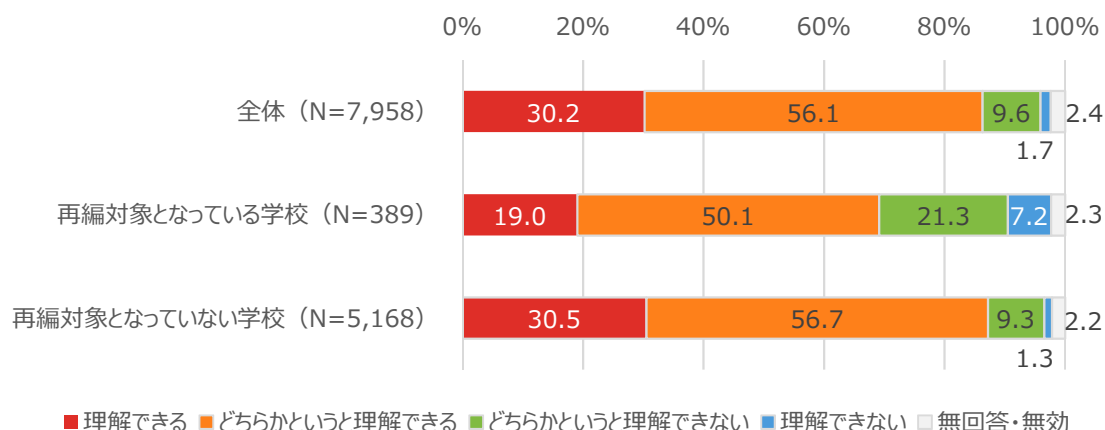
- ・ 「理解できる」、「どちらかという理解できる」と回答した保護者が全体の86.3%を占めた。

上段：回答者数（N）、下段：割合（%）

選択肢	理解できる	どちらかという理解できる	どちらかという理解できない	理解できない	無回答・無効
全体	7,958 (100.0)	2,403 (30.2)	4,466 (56.1)	763 (9.6)	138 (1.7)
再編対象となっている学校	389 (100.0)	74 (19.0)	195 (50.1)	83 (21.3)	28 (7.2)
再編対象となっていない学校	5,168 (100.0)	1,577 (30.5)	2,929 (56.7)	483 (9.3)	66 (1.3)
未就学児	2,183 (100.0)	708 (32.4)	1,238 (56.7)	180 (8.2)	42 (0.7)
無回答・無効	218 (100.0)	44 (20.2)	104 (47.7)	17 (7.8)	2 (0.9)

※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。

※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



(「未就学児」2,183人及び再編対象分類「無回答・無効」218人はグラフには非表示)

問6 「学校再編」という言葉を聞いて、特に期待できるのはどのようなことですか。

あてはまるものを **3つまで** 選んでください。

- ・ 「学校再編」という言葉を聞いて特に期待できることとして挙げられたのは、全体では、「幅広い人間関係の中での子どもたちの表現力やコミュニケーション能力、協調性、たくましさなどの育成」(49.2%) が最も多く、次いで「子どもの友達の増加・人間関係の広がり」(34.0%)、「多様な考えに触れ、学び合い、切磋琢磨し合える環境」(33.7%) となった。
- ・ 一方、「期待することはない」という回答は 4.3%であった。

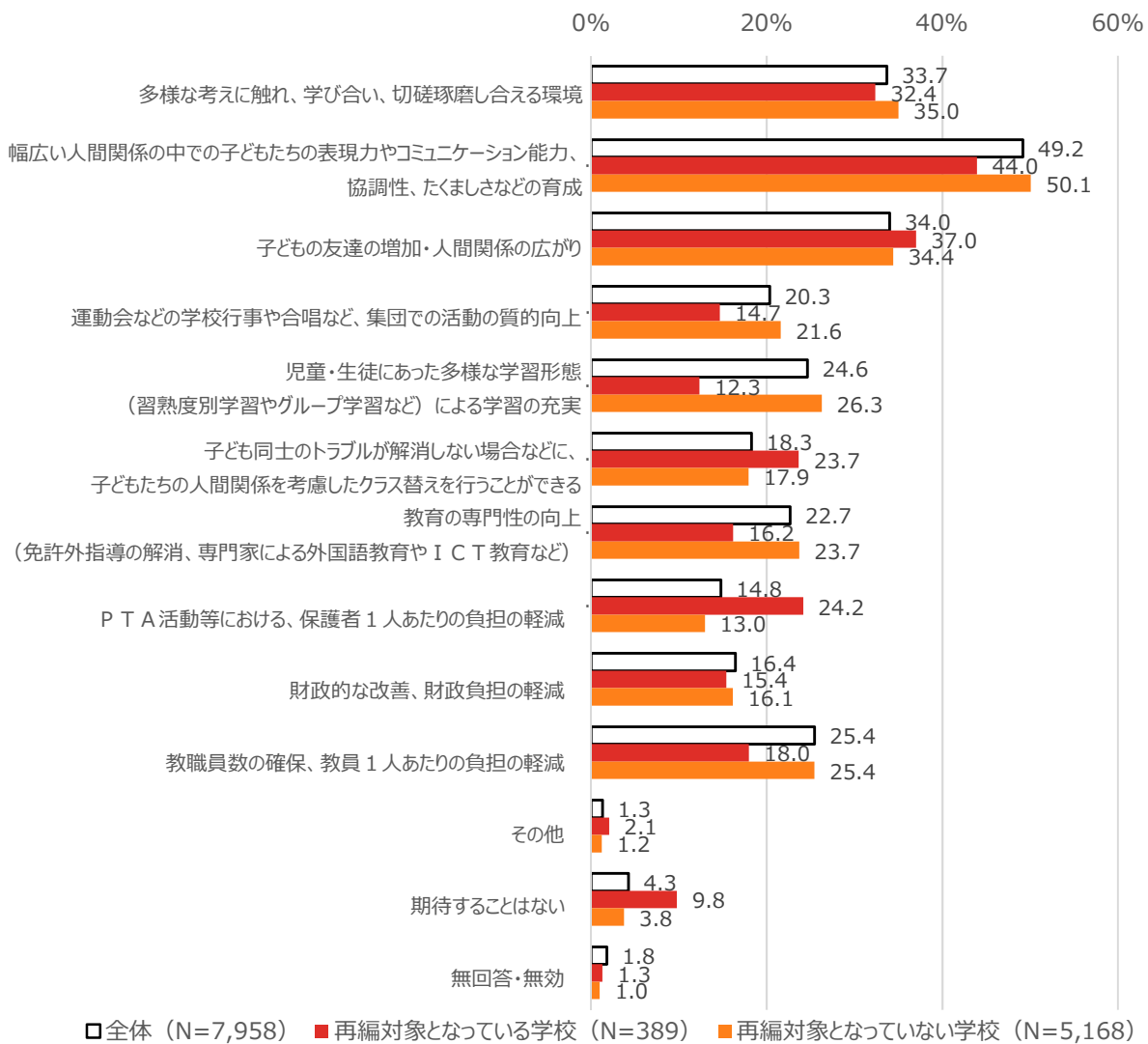
上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢	多様な考えに触れ、学び合い、切磋琢磨し合える環境	幅広い人間関係の中での子どもたちの表現力やコミュニケーション能力、協調性、たくましさなどの育成	子どもの友達の増加・人間関係の広がり	運動会などの学校行事や合唱など、集団での活動の質的向上	児童・生徒にあった多様な学習形態(習熟度別学習やグループ学習など)による学習の充実	子ども同士のトラブルが解消しない場合などに、子どもたちの人間関係を考慮したクラス替えを行うことができる
全体	7,958 (100.0)	2,680 (33.7)	3,913 (49.2)	2,706 (34.0)	1,618 (20.3)	1,453 (18.3)
再編対象となっている学校	389 (100.0)	126 (32.4)	171 (44.0)	144 (37.0)	57 (14.7)	92 (23.7)
再編対象となっていない学校	5,168 (100.0)	1,809 (35.0)	2,589 (50.1)	1,778 (34.4)	1,117 (21.6)	927 (17.9)
未就学児	2,183 (100.0)	690 (31.6)	1,070 (49.0)	736 (33.7)	413 (18.9)	401 (18.4)
無回答・無効	218 (100.0)	55 (25.2)	83 (38.1)	48 (22.0)	31 (14.2)	33 (15.1)

選択肢	教育の専門性の向上(免許外指導の解消、専門家による外国語教育やICT教育など)	P T A活動等における、保護者1人あたりの負担の軽減	財政的な改善、財政負担の軽減	教職員数の確保、教員1人あたりの負担の軽減	その他	期待することはない	無回答・無効
全体	1,804 (22.7)	1,176 (14.8)	1,307 (16.4)	2,025 (25.4)	103 (1.3)	339 (4.3)	142 (1.8)
再編対象となっている学校	63 (16.2)	94 (24.2)	60 (15.4)	70 (18.0)	8 (2.1)	38 (9.8)	5 (1.3)
再編対象となっていない学校	1,225 (23.7)	670 (13.0)	834 (16.1)	1,315 (25.4)	63 (1.2)	194 (3.8)	51 (1.0)
未就学児	478 (21.9)	391 (17.9)	387 (17.7)	607 (27.8)	31 (1.4)	91 (4.2)	32 (1.5)
無回答・無効	38 (17.4)	21 (9.6)	26 (11.9)	33 (15.1)	1 (0.5)	16 (7.3)	54 (24.8)

※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。

※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



（「未就学児」2,183 人及び再編対象分類「無回答・無効」218 人はグラフには非表示）

問7 「学校再編」という言葉を聞いて、特に不安に思うのはどのようなことですか。

あてはまるものを **3つまで** 選んでください。

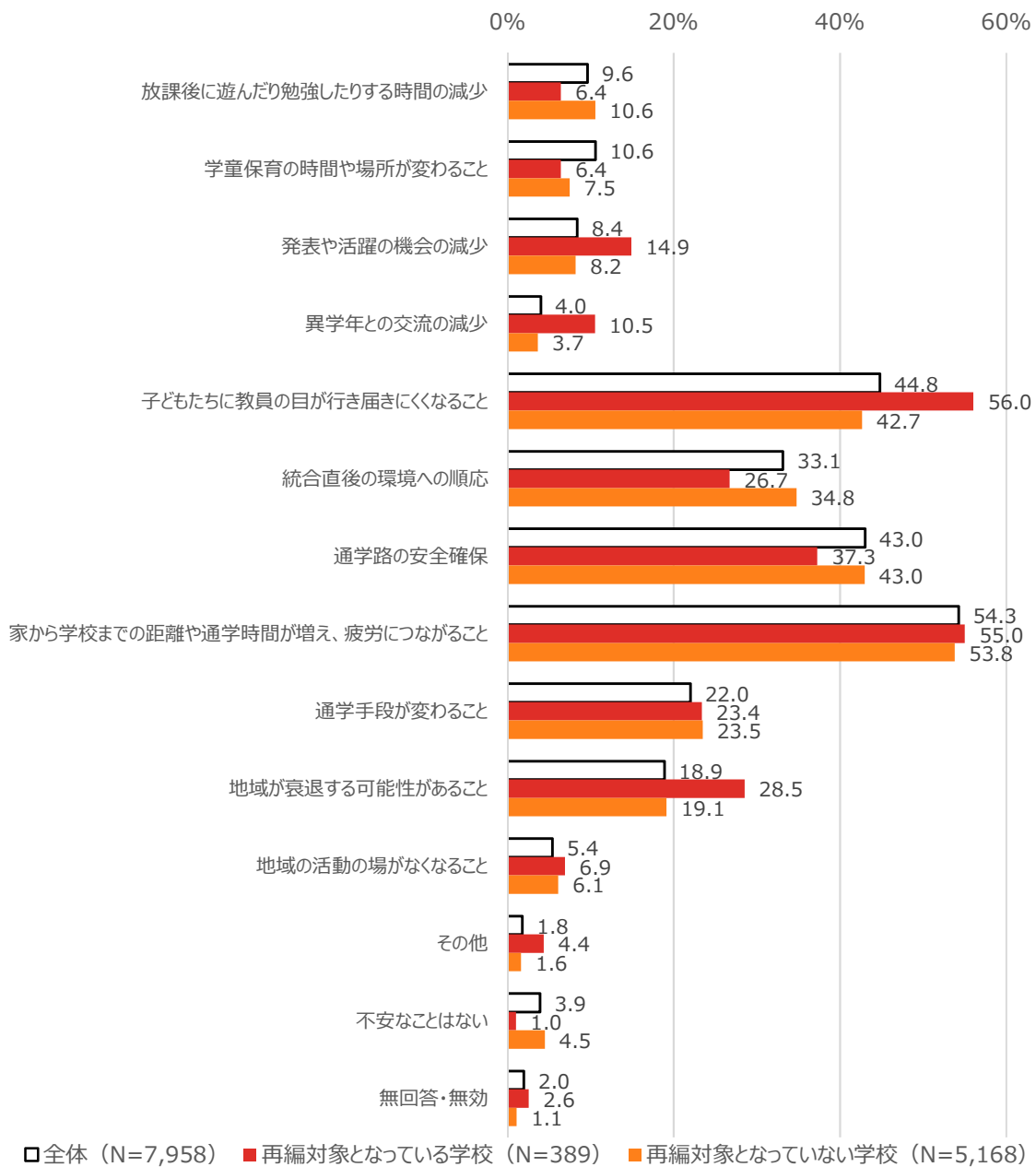
- ・ 「学校再編」という言葉を聞いて特に不安に思うこととして、全体では、「家から学校までの距離や通学時間が増え、疲労につながること」（54.3%）とする回答が最も多く、次いで「子どもたちに教員の目が行き届きにくくなること」（44.8%）、「通学路の安全確保」（43.0%）となった。
- ・ 一方、「不安なことはない」という回答は3.9%であった。

上段：回答者総数（N）、下段：割合（%）

選択肢	放課後に遊んだり勉強したりする時間の減少	学童保育の時間や場所が変わること	発表や活躍の機会の減少	異学年との交流の減少	子どもたちに教員の目が行き届きにくくなること	統合直後の環境への順応	通学路の安全確保
全体	7,958 (100.0)	766 (9.6)	843 (10.6)	667 (8.4)	319 (4.0)	3,565 (44.8)	3,422 (43.0)
再編対象となっている学校	389 (100.0)	25 (6.4)	25 (6.4)	58 (14.9)	41 (10.5)	218 (56.0)	145 (37.3)
再編対象となっていない学校	5,168 (100.0)	547 (10.6)	387 (7.5)	425 (8.2)	189 (3.7)	2,205 (42.7)	2,221 (43.0)
未就学児	2,183 (100.0)	173 (7.9)	411 (18.8)	170 (7.8)	79 (3.6)	1,070 (49.0)	989 (45.3)
無回答・無効	218 (100.0)	21 (9.6)	20 (9.2)	14 (6.4)	10 (4.6)	72 (33.0)	67 (30.7)

選択肢	家から学校までの距離や通学時間が増え、疲労につながる	通学手段が変わること	地域が衰退する可能性があること	地域の活動の場がなくなること	その他	不安なことはない	無回答・無効
全体	4,318 (54.3)	1,752 (22.0)	1,503 (18.9)	430 (5.4)	142 (1.8)	312 (3.9)	157 (2.0)
再編対象となっている学校	214 (55.0)	91 (23.4)	111 (28.5)	27 (6.9)	17 (4.4)	4 (1.0)	10 (2.6)
再編対象となっていない学校	2,780 (53.8)	1,214 (23.5)	989 (19.1)	316 (6.1)	85 (1.6)	233 (4.5)	58 (1.1)
未就学児	1,237 (56.7)	417 (19.1)	376 (17.2)	76 (3.5)	36 (1.6)	68 (3.1)	34 (1.6)
無回答・無効	87 (39.9)	30 (13.8)	27 (12.4)	11 (5.0)	4 (1.8)	7 (3.2)	55 (25.2)

- ※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。
- ※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



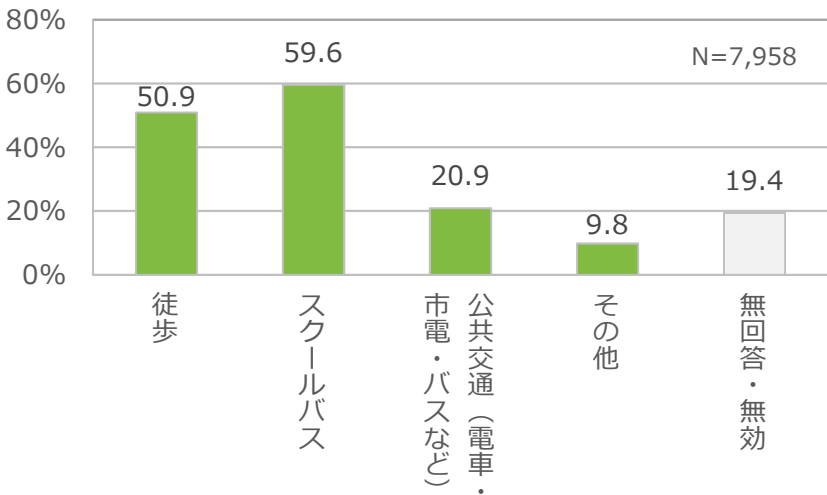
(「未就学児」2,183人及び再編対象分類「無回答・無効」218人はグラフには非表示)

問8 仮に再編した場合、現在と比べて通学距離がのびる可能性があります。  
 そういった場合を想定し、小学生・中学生それぞれについて、ご自身のお子様が通学することを  
 想像してご回答ください。  
 (1) 通学手段として考えられるものを すべて 選んでください。

■小学生

- ・ 再編し通学距離がのびた場合、小学生の主な通学手段としては、「スクールバス」(59.6%)と回答した保護者が最も多く、次いで「徒歩」(50.9%)となった。

選択肢	N	%
徒歩	4,048	50.9
スクールバス	4,746	59.6
公共交通（電車・市電・バスなど）	1,666	20.9
その他	781	9.8
無回答・無効	1,542	19.4
回答者総数	7,958	

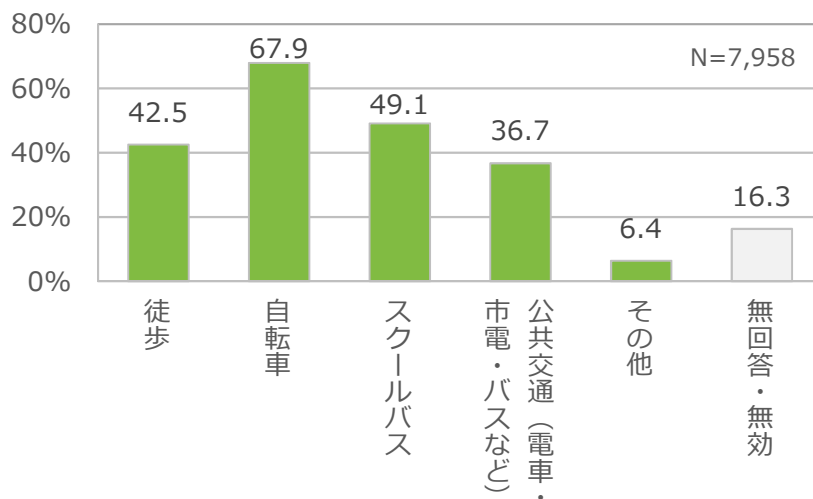




■中学生

- ・ 再編し通学距離がのびた場合、中学生の主な通学手段としては、「自転車」(67.9%)との回答が最も多く、次いで「スクールバス」(49.1%)、「徒歩」(42.5%)となった。
- ・ 小学生と異なる傾向として、中学生のみ選択肢とした「自転車」のほか、一定数の保護者が「公共交通」を選択した点が挙げられる。

選択肢	N	%
徒歩	3,380	42.5
自転車	5,400	67.9
スクールバス	3,911	49.1
公共交通（電車・市電・バスなど）	2,919	36.7
その他	512	6.4
無回答・無効	1,296	16.3
回答者総数	7,958	



問8 仮に再編した場合、現在と比べて通学距離がのびる可能性があります。  
 そういった場合を想定し、小学生・中学生それぞれについて、ご自身のお子様が通学することを  
 想像してご回答ください。  
 (2) 通学時間は最大何分まで許容できるかを、通学手段ごとに **1つずつ** 選んでください。  
 ※スクールバス、公共交通は乗車時間のみを想定してご回答ください。

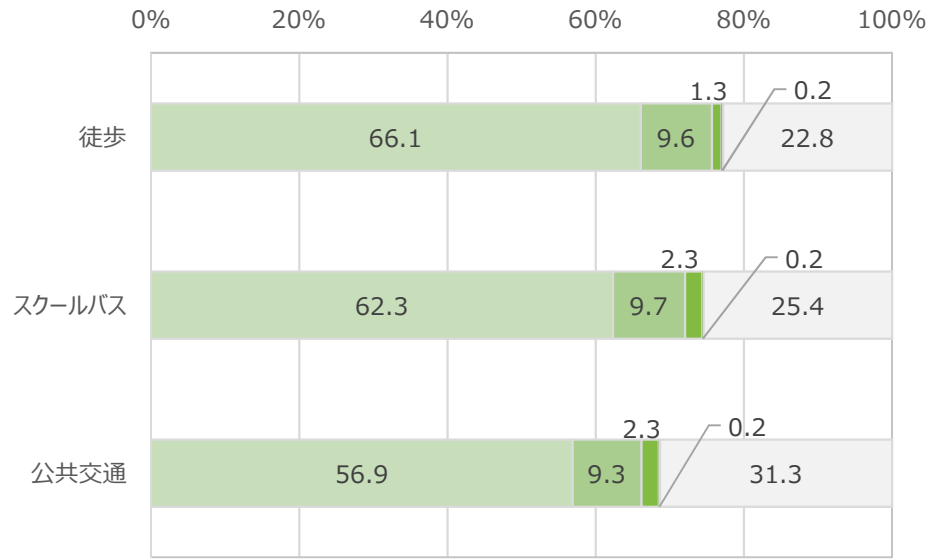
■小学生

- 小学生の通学時間として許容できるのは、いずれの手段についても「30分以内」とした保護者が約6割を占めた。

上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

項目	30分以内	45分以内	60分以内	それ以上	無回答・無効	回答者総数
徒歩	5,260 (66.1)	764 (9.6)	107 (1.3)	15 (0.2)	1,812 (22.8)	7,958 (100.0)
スクールバス	4,960 (62.3)	774 (9.7)	183 (2.3)	18 (0.2)	2,023 (25.4)	7,958 (100.0)
公共交通	4,530 (56.9)	740 (9.3)	181 (2.3)	17 (0.2)	2,490 (31.3)	7,958 (100.0)

※「公共交通」は、アンケート票において「公共交通（電車・市電・バス など）」と記載



■ 30分以内 ■ 45分以内 ■ 60分以内 ■ それ以上 □ 無回答・無効 N=7,958

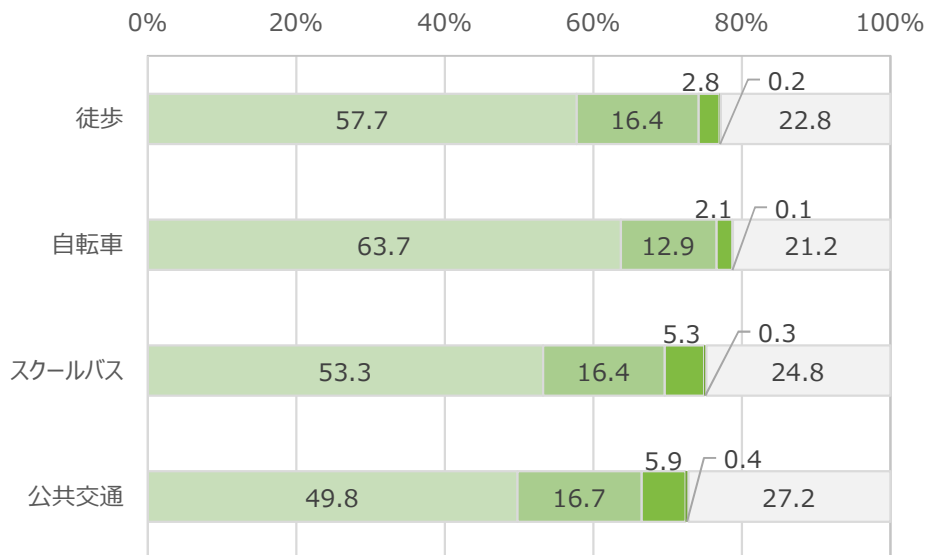
■ 中学生

- 中学生の通学時間として許容できるのは「30分以内」との回答は、徒歩、自転車では約6割、スクールバス、公共交通では約5割となった。

上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

項目	30分以内	45分以内	60分以内	それ以上	無回答・無効	回答者総数
徒歩	4,595 (57.7)	1,305 (16.4)	224 (2.8)	16 (0.2)	1,818 (22.8)	7,958 (100.0)
自転車	5,067 (63.7)	1,025 (12.9)	171 (2.1)	10 (0.1)	1,685 (21.2)	7,958 (100.0)
スクールバス	4,238 (53.3)	1,302 (16.4)	425 (5.3)	21 (0.3)	1,972 (24.8)	7,958 (100.0)
公共交通	3,964 (49.8)	1,326 (16.7)	471 (5.9)	31 (0.4)	2,166 (27.2)	7,958 (100.0)

※「公共交通」は、アンケート票において「公共交通（電車・市電・バス など）」と記載



■ 30分以内 ■ 45分以内 ■ 60分以内 ■ それ以上 □ 無回答・無効 N=7,958

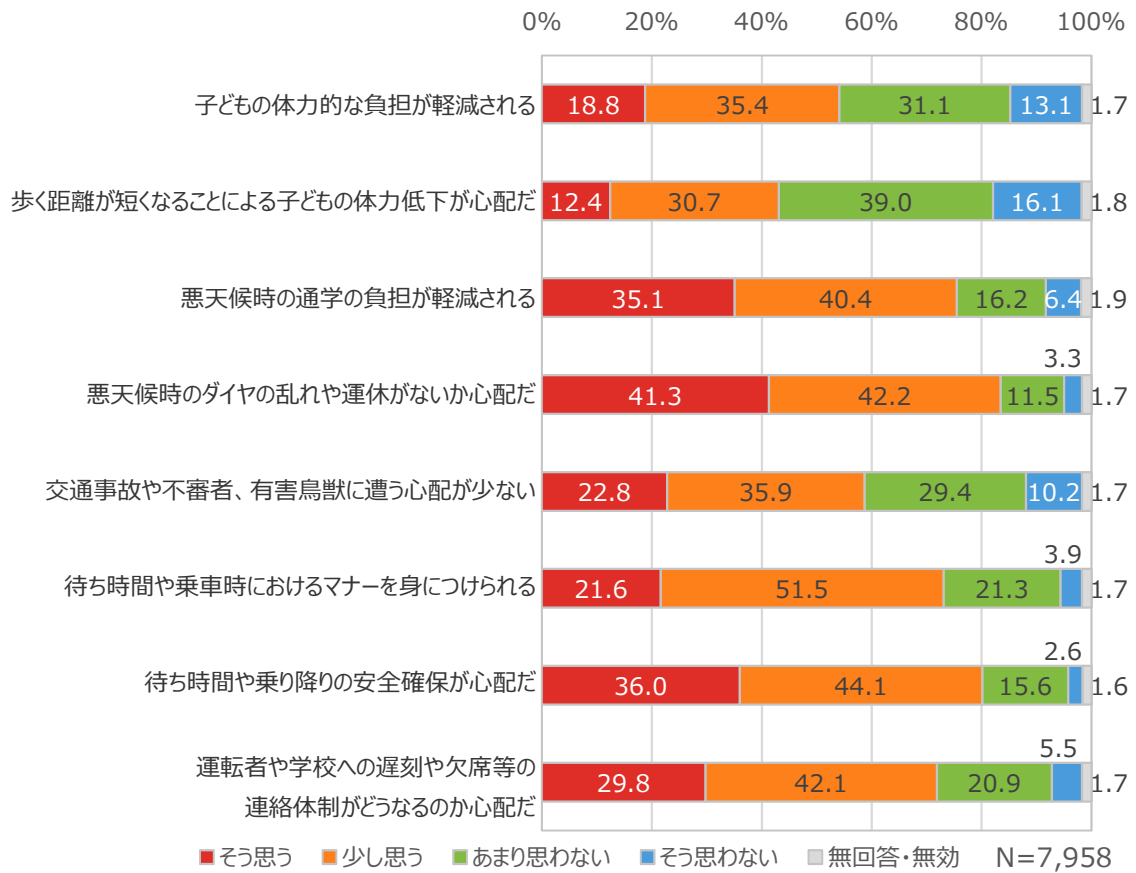
問8 (3) 再編により、ご自身のお子様がスクールバスや公共交通機関で通学することを想像したときの期待や不安について、各項目であなたの考えに近い選択肢を、

1. 1. そう思わない～4. 4. そう思う の中から 1つ 選んで○をつけてください。

- ・ 「歩く距離が短くなることによる子どもの体力の低下が心配だ」を除く全ての設問において、「1. そう思う」「2. 少し思う」が占める割合が過半を占めた。  
「1. そう思う」「2. 少し思う」の占める割合が最も高い設問は、「悪天候時のダイヤの乱れや運休がないか心配だ」、次いで「待ち時間や乗り降りの安全確保が心配だ」、「悪天候時の通学の負担が軽減される」となっており、スクールバスや公共交通機関の利用について、期待だけでなく不安も多いことが示された。
- ・ 「歩く距離が短くなることによる子どもの体力低下が心配だ」については、「1. そう思う」、「2. 少し思う」が他の項目と比べて少なく、比較的懸念が薄いことが示された。

上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

項目	1. そう思う	2. 少し思う	3. あまり思わない	4. そう思わない	無回答・無効	回答者総数
子どもの体力的な負担が軽減される	1,495 (18.8)	2,814 (35.4)	2,471 (31.1)	1,044 (13.1)	134 (1.7)	7,958 (100.0)
歩く距離が短くなることによる子どもの体力低下が心配だ	987 (12.4)	2,447 (30.7)	3,104 (39.0)	1,278 (16.1)	142 (1.8)	7,958 (100.0)
悪天候時の通学の負担が軽減される	2,792 (35.1)	3,219 (40.4)	1,287 (16.2)	511 (6.4)	149 (1.9)	7,958 (100.0)
悪天候時のダイヤの乱れや運休がないか心配だ	3,289 (41.3)	3,355 (42.2)	913 (11.5)	265 (3.3)	136 (1.7)	7,958 (100.0)
交通事故や不審者、有害鳥獣に遭う心配が少ない	1,812 (22.8)	2,857 (35.9)	2,337 (29.4)	813 (10.2)	139 (1.7)	7,958 (100.0)
待ち時間や乗車時におけるマナーを身につけられる	1,717 (21.6)	4,098 (51.5)	1,692 (21.3)	312 (3.9)	139 (1.7)	7,958 (100.0)
待ち時間や乗り降りの安全確保が心配だ	2,868 (36.0)	3,508 (44.1)	1,242 (15.6)	209 (2.6)	131 (1.6)	7,958 (100.0)
運転者や学校への遅刻や欠席等の連絡体制がどうなるのか心配だ	2,373 (29.8)	3,349 (42.1)	1,663 (20.9)	435 (5.5)	138 (1.7)	7,958 (100.0)



問9 本市では、今後も小・中学校の小規模化が進むことが見込まれています。  
お住まいの地域における将来の子どもたちの教育環境を見据え、地域や保護者が主体となって、  
学校再編を念頭に置いた話し合いを始めることに関するご意見を 1つ 選んでください。

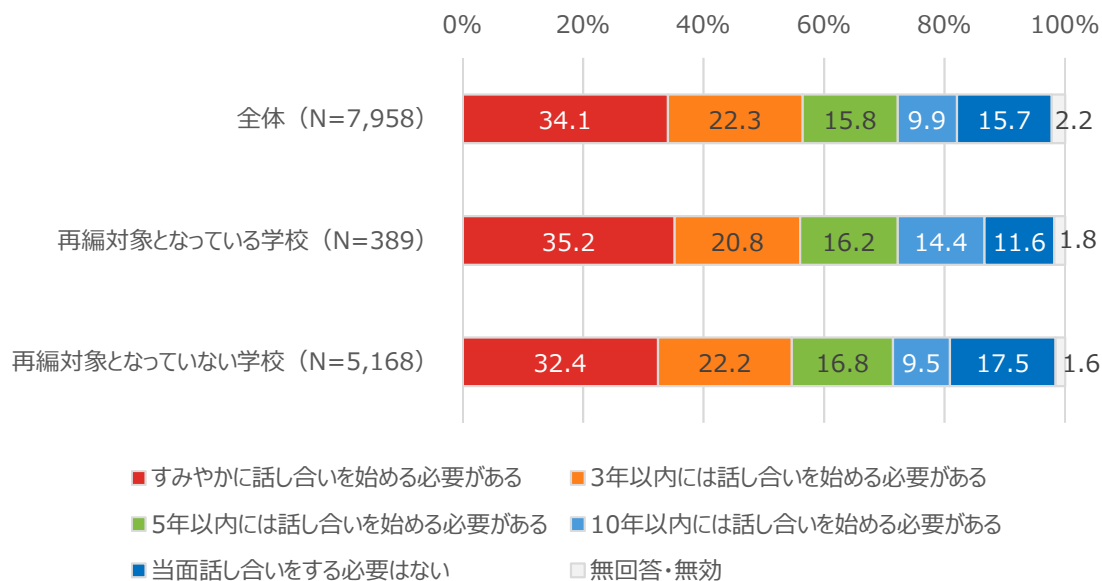
- ・ 「地域や保護者が主体となって話し合いを始めること」については、「すみやかに」との回答が最も多く、全体の約3分の1を占めた。
- ・ 次いで「3年以内」(22.3%)、「5年以内」(15.8%)と、5年以内の話し合いを求める保護者が全体の7割を占めた。
- ・ 「当面話し合いをする必要はない」という回答は15.7%であった。

上段：回答者総数(N)、下段：割合(%)

選択肢	すみやかに話し合いを始める必要がある	3年以内には話し合いを始める必要がある	5年以内には話し合いを始める必要がある	10年以内には話し合いを始める必要がある	当面話し合いをする必要はない	無回答・無効	
全体	7,958 (100.0)	2,714 (34.1)	1,776 (22.3)	1,257 (15.8)	784 (9.9)	1,249 (15.7)	178 (2.2)
再編対象となっている学校	389 (100.0)	137 (35.2)	81 (20.8)	63 (16.2)	56 (14.4)	45 (11.6)	7 (1.8)
再編対象となっていない学校	5,168 (100.0)	1,675 (32.4)	1,149 (22.2)	868 (16.8)	489 (9.5)	904 (17.5)	83 (1.6)
未就学児	2,183 (100.0)	834 (38.2)	515 (23.6)	304 (13.9)	223 (10.2)	272 (12.5)	35 (1.6)
無回答・無効	218 (100.0)	68 (31.2)	31 (14.2)	22 (10.1)	16 (7.3)	28 (12.8)	53 (24.3)

※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。

※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



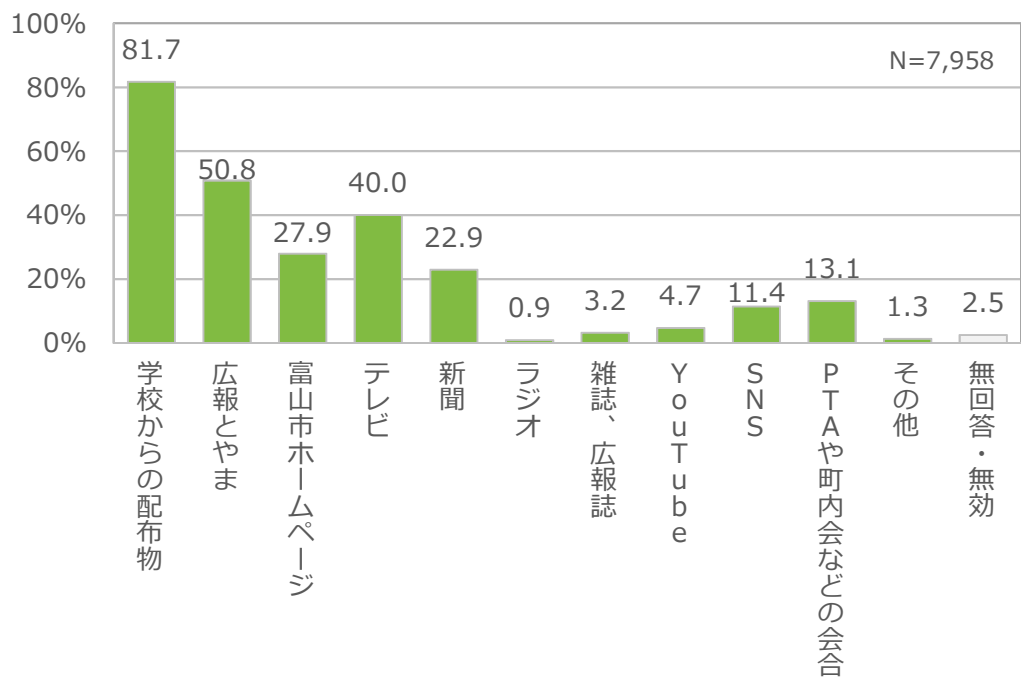
(「未就学児」2,183人及び再編対象分類「無回答・無効」218人はグラフには非表示)

### 3. 学校再編の周知について

問 10 (1) 学校再編について、どのように情報発信してほしいですか。  
 あてはまるものを **3つまで** 選んでください。

- ・ 学校再編に関する望ましい情報発信の手段としては、「学校からの配布物」(81.7%) が最も多く、次いで「広報とやま」(50.8%)、「テレビ」(40.0%)、「富山市ホームページ」(27.9%)、「新聞」(22.9%) となった。

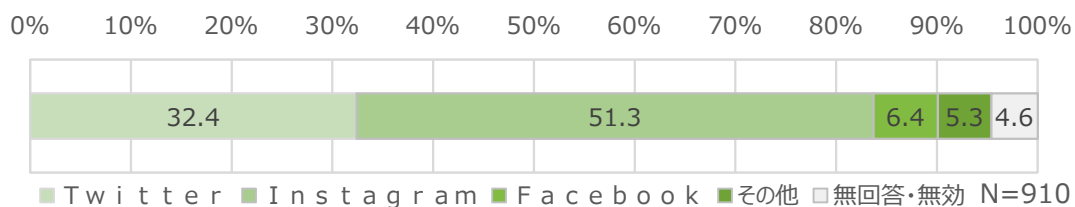
選択肢	N	%
学校からの配布物	6,504	81.7
広報とやま	4,046	50.8
富山市ホームページ	2,219	27.9
テレビ	3,184	40.0
新聞	1,825	22.9
ラジオ	73	0.9
雑誌、広報誌	254	3.2
YouTube	375	4.7
SNS	910	11.4
P T Aや町内会などの会合	1,045	13.1
その他	104	1.3
無回答・無効	195	2.5
回答者総数	7,958	



問 10 (2) 問 10 (1) で「@SNS」を選択した方にお聞きます。  
 具体的に情報発信してほしいサービスがあれば、あてはまるものを **1つ** 選んでください。

- ・ 学校再編に関する情報発信を SNS で実施する場合、望ましいサービスは、「Instagram」(51.3%) とする回答が最も多く、次いで「Twitter」(32.4%) 「Facebook」(6.4%) が挙げられた。

選択肢	N	%
Twitter	295	32.4
Instagram	467	51.3
Facebook	58	6.4
その他	48	5.3
無回答・無効	42	4.6
回答者総数	910	100.0





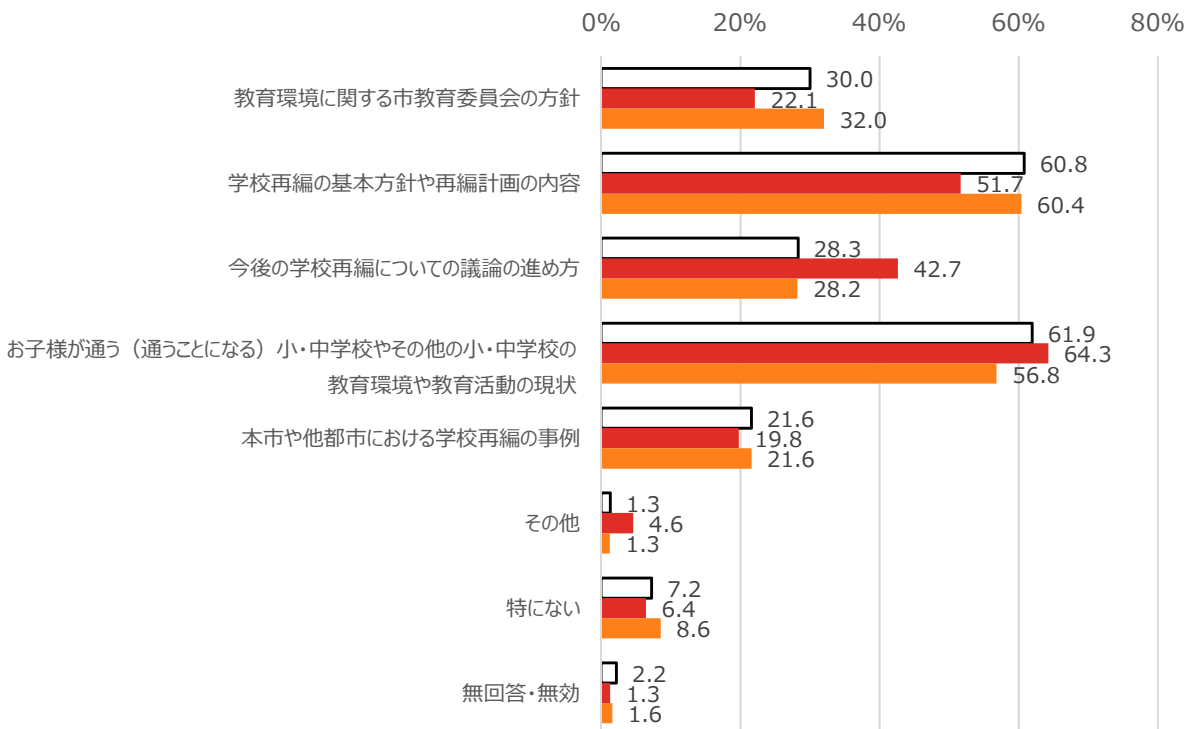
問 11 (1) これからの教育環境、学校再編を考えていくにあたり、もっと知りたいと思うことはどのようなことですか。あてはまるものを **3つまで** 選んでください。

- 全体では、「お子様が通う（通うことになる）小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状」（61.9%）、「学校再編の基本方針や再編計画の内容」（60.8%）について知りたいとする回答が多く、6割以上を占めた。

上段：回答者総数（N）、下段：割合（%）

選択肢	回答者総数 (N)	割合 (%)	回答者総数 (N)	割合 (%)	回答者総数 (N)	割合 (%)	回答者総数 (N)	割合 (%)	回答者総数 (N)	割合 (%)								
全体	7,958	(100.0)	2,388	(30.0)	4,838	(60.8)	2,252	(28.3)	4,929	(61.9)	1,716	(21.6)	105	(1.3)	576	(7.2)	174	(2.2)
再編対象となっている学校	389	(100.0)	86	(22.1)	201	(51.7)	166	(42.7)	250	(64.3)	77	(19.8)	18	(4.6)	25	(6.4)	5	(1.3)
再編対象となっていない学校	5,168	(100.0)	1,654	(32.0)	3,121	(60.4)	1,458	(28.2)	2,937	(56.8)	1,117	(21.6)	65	(1.3)	442	(8.6)	83	(1.6)
未就学児	2,183	(100.0)	597	(27.3)	1,425	(65.3)	580	(26.6)	1,643	(75.3)	489	(22.4)	20	(0.9)	94	(4.3)	31	(1.4)
無回答・無効	218	(100.0)	51	(23.4)	91	(41.7)	48	(22.0)	99	(45.4)	33	(15.1)	2	(0.9)	15	(6.9)	55	(25.2)

- ※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。
- ※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうか不確定であることから、分類していない。



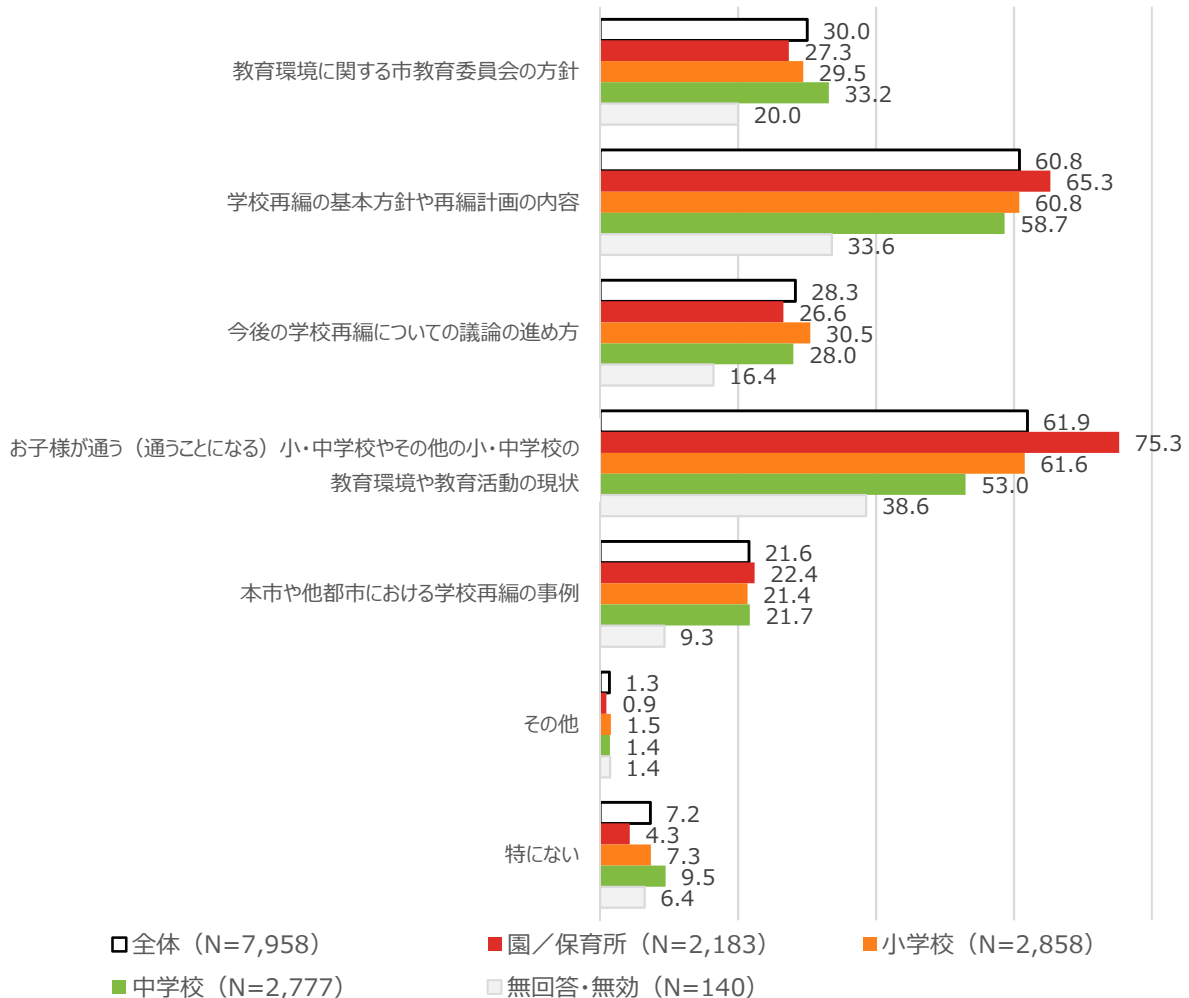
□全体（N=7,958） ■再編対象となっている学校（N=389） ■再編対象となっていない学校（N=5,168）

（「未就学児」2,183人及び再編対象分類「無回答・無効」218人はグラフには非表示）

<学校種別分類>

上段：回答者総数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢		教育環境に関する市教育委員会の方針	学校再編の基本方針や再編計画の内容	今後の学校再編についての議論の進め方	お子様が通う(通うことになる)小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状	本市や他都市における学校再編の事例	その他	特にない	無回答・無効
全体	7,958 (100.0)	2,388 (30.0)	4,838 (60.8)	2,252 (28.3)	4,929 (61.9)	1,716 (21.6)	105 (1.3)	576 (7.2)	174 (2.2)
園/保育所	2,183 (100.0)	597 (27.3)	1,425 (65.3)	580 (26.6)	1,643 (75.3)	489 (22.4)	20 (0.9)	94 (4.3)	31 (1.4)
小学校	2,858 (100.0)	842 (29.5)	1,737 (60.8)	871 (30.5)	1,760 (61.6)	611 (21.4)	44 (1.5)	210 (7.3)	42 (1.5)
中学校	2,777 (100.0)	921 (33.2)	1,629 (58.7)	778 (28.0)	1,472 (53.0)	603 (21.7)	39 (1.4)	263 (9.5)	48 (1.7)
無回答・無効	140 (100.0)	28 (20.0)	47 (33.6)	23 (16.4)	54 (38.6)	13 (9.3)	2 (1.4)	9 (6.4)	53 (37.9)



(問 11(1)「無回答・無効」174 人はグラフには非表示)

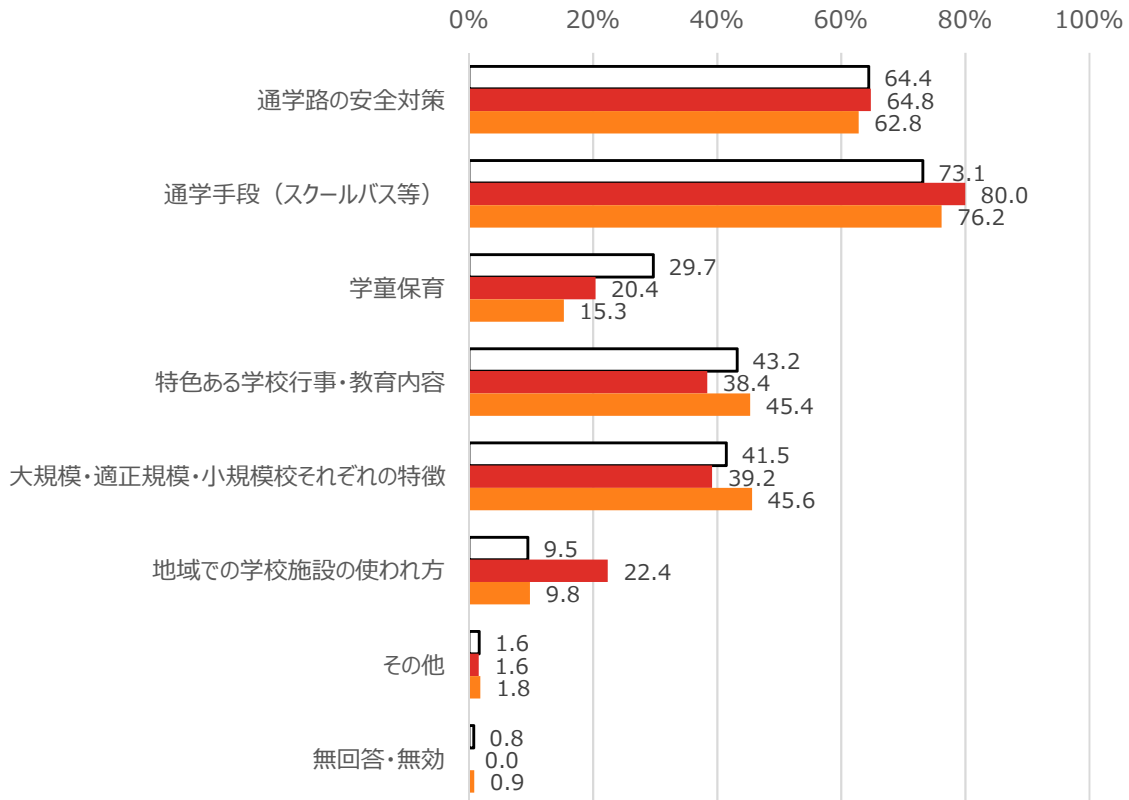
問 11 (2) 問 11 (1) で「④お子様が通う（通うことになる）小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状」を選択した方にお聞きます。  
 具体的に知りたいことを **3つまで** 選んでください。

- 全体では、「学校の教育環境や教育活動の現状」で知りたいこととして、「通学手段（スクールバス等）」（73.1%）とする回答が最も多く、次いで「通学路の安全対策」（64.4%）となった。

上段：回答者総数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢	通学路の安全対策	通学手段（スクールバス等）	学童保育	特色ある学校行事・教育内容	大規模・適正規模・小規模校それぞれの特徴	地域での学校施設の使われ方	その他	無回答・無効	
全体	4,929 (100.0)	3,176 (64.4)	3,605 (73.1)	1,463 (29.7)	2,130 (43.2)	2,044 (41.5)	468 (9.5)	80 (1.6)	38 (0.8)
再編対象となっている学校	250 (100.0)	162 (64.8)	200 (80.0)	51 (20.4)	96 (38.4)	98 (39.2)	56 (22.4)	4 (1.6)	0 (0.0)
再編対象となっていない学校	2,937 (100.0)	1,845 (62.8)	2,238 (76.2)	449 (15.3)	1,332 (45.4)	1,340 (45.6)	289 (9.8)	54 (1.8)	26 (0.9)
未就学児	1,643 (100.0)	1,106 (67.3)	1,101 (67.0)	936 (57.0)	660 (40.2)	565 (34.4)	109 (6.6)	21 (1.3)	10 (0.6)
無回答・無効	99 (100.0)	63 (63.6)	66 (66.7)	27 (27.3)	42 (42.4)	41 (41.4)	14 (14.1)	1 (1.0)	2 (2.0)

- ※ 子どもの通う小・中学校が「市立小・中学校再編計画」において再編対象となっているか否かによって分類した。
- ※ 未就学児保護者については、子どもの通う幼稚園等の所在地と現在の居住校区が一致しない場合が一定数あると考えられること、現在居住する校区の学校に進学するかどうかが不確定であることから、分類していない。



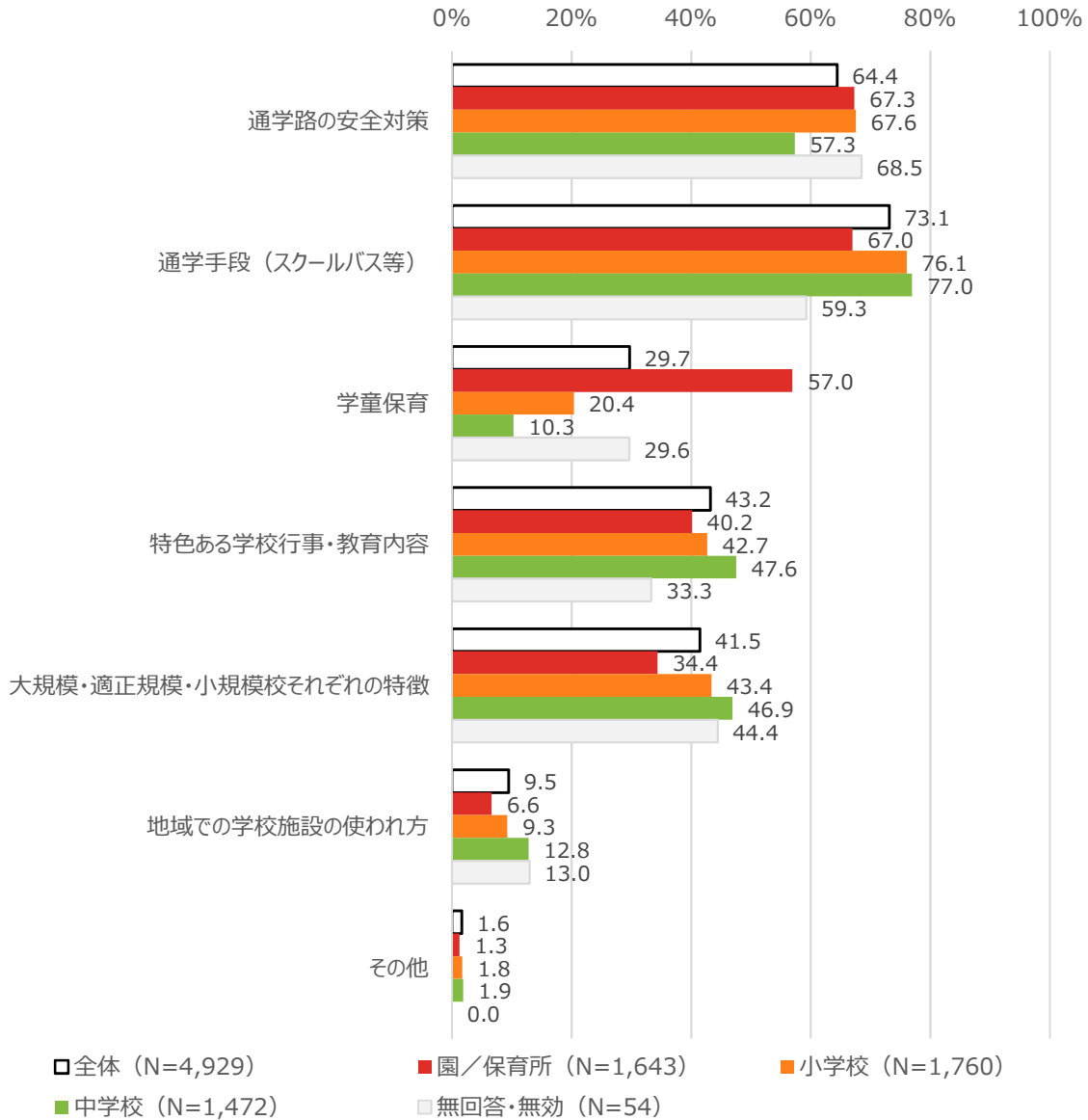
□全体 (N=4,929) ■再編対象となっている学校 (N=250) ■再編対象となっていない学校 (N=2,937)

(「未就学児」1,643 人及び再編対象分類「無回答・無効」99 人はグラフには非表示)

<学校種別分類>

上段：回答者総数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢	回答者総数 (N)	割合 (%)	通学路の安全対策	通学手段 (スクールバス等)	学童保育	特色ある学校行事・教育内容	大規模・適正規模・小規模校それぞれの特徴	地域での学校施設の使われ方	その他	無回答・無効
全体	4,929	(100.0)	3,176 (64.4)	3,605 (73.1)	1,463 (29.7)	2,130 (43.2)	2,044 (41.5)	468 (9.5)	80 (1.6)	38 (0.8)
園／保育所	1,643	(100.0)	1,106 (67.3)	1,101 (67.0)	936 (57.0)	660 (40.2)	565 (34.4)	109 (6.6)	21 (1.3)	10 (0.6)
小学校	1,760	(100.0)	1,189 (67.6)	1,339 (76.1)	359 (20.4)	752 (42.7)	764 (43.4)	163 (9.3)	31 (1.8)	13 (0.7)
中学校	1,472	(100.0)	844 (57.3)	1,133 (77.0)	152 (10.3)	700 (47.6)	691 (46.9)	189 (12.8)	28 (1.9)	13 (0.9)
無回答・無効	54	(100.0)	37 (68.5)	32 (59.3)	16 (29.6)	18 (33.3)	24 (44.4)	7 (13.0)	0 (0.0)	2 (3.7)



(問 11(1)「無回答・無効」54 人はグラフには非表示)

### Ⅲ. クロス集計結果

#### 1. 学校再編への期待・不安

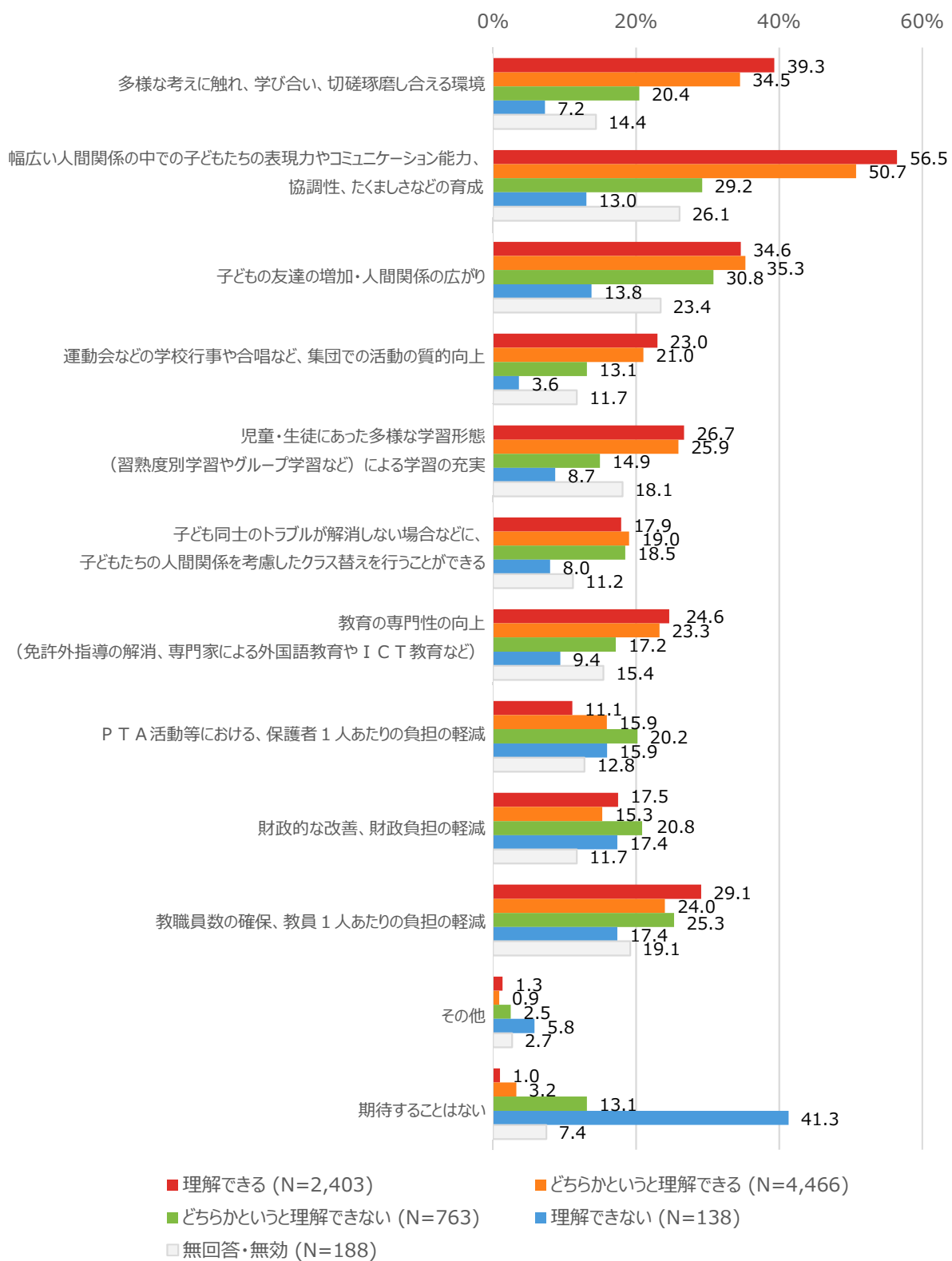
縦軸	問5（学校再編への理解度）（SA）
横軸	問6（学校再編への期待）（MA）

- 学校再編について「理解できる」、「どちらかという理解できる」とした保護者の約半数が、「幅広い人間関係の中での子どもたちの表現力やコミュニケーション能力、協調性、たくましさなどの育成」について期待できるという回答であった。
- 「理解できない」とした保護者の41.3%は、「期待することはない」と回答した。

上段：回答者数（N）、下段：割合（%）

選択肢	多様な考えに触れ、学び合い、切磋琢磨し合える環境	幅広い人間関係の中での子どもの表現力やコミュニケーション能力、協調性、たくましさなどの育成	子どもの友達の増加・人間関係の広がり	運動会などの学校行事や合唱など、集団での活動の質的向上	児童・生徒にあった多様な学習形態（習熟度別学習やグループ学習など）による学習の充実	子ども同士のトラブルが解消しない場合などに、子どもたちの人間関係を考慮したクラス替えを行うことができる	教育の専門性の向上（免許外指導の解消、専門家による外国語教育やICT教育など）	
全体	7,958 (100.0)	2,680 (33.7)	3,913 (49.2)	2,706 (34.0)	1,618 (20.3)	1,960 (24.6)	1,453 (18.3)	1,804 (22.7)
理解できる	2,403 (100.0)	945 (39.3)	1,357 (56.5)	832 (34.6)	552 (23.0)	642 (26.7)	430 (17.9)	592 (24.6)
どちらかという理解できる	4,466 (100.0)	1,542 (34.5)	2,266 (50.7)	1,576 (35.3)	939 (21.0)	1,158 (25.9)	850 (19.0)	1,039 (23.3)
どちらかという理解できない	763 (100.0)	156 (20.4)	223 (29.2)	235 (30.8)	100 (13.1)	114 (14.9)	141 (18.5)	131 (17.2)
理解できない	138 (100.0)	10 (7.2)	18 (13.0)	19 (13.8)	5 (3.6)	12 (8.7)	11 (8.0)	13 (9.4)
無回答・無効	188 (100.0)	27 (14.4)	49 (26.1)	44 (23.4)	22 (11.7)	34 (18.1)	21 (11.2)	29 (15.4)

選択肢	P T A 活動等における、保護者 1 人あたりの負担の軽減	財政的な改善、財政負担の軽減	教職員数の確保、教員 1 人あたりの負担の軽減	その他	期待することはない	無回答・無効
全体	1,176 (14.8)	1,307 (16.4)	2,025 (25.4)	103 (1.3)	339 (4.3)	142 (1.8)
理解できる	266 (11.1)	420 (17.5)	699 (29.1)	32 (1.3)	23 (1.0)	19 (0.8)
どちらかという理解できる	710 (15.9)	682 (15.3)	1,073 (24.0)	39 (0.9)	145 (3.2)	53 (1.2)
どちらかという理解できない	154 (20.2)	159 (20.8)	193 (25.3)	19 (2.5)	100 (13.1)	10 (1.3)
理解できない	22 (15.9)	24 (17.4)	24 (17.4)	8 (5.8)	57 (41.3)	3 (2.2)
無回答・無効	24 (12.8)	22 (11.7)	36 (19.1)	5 (2.7)	14 (7.4)	57 (30.3)



(問 6「無回答・無効」142 人はグラフには非表示)

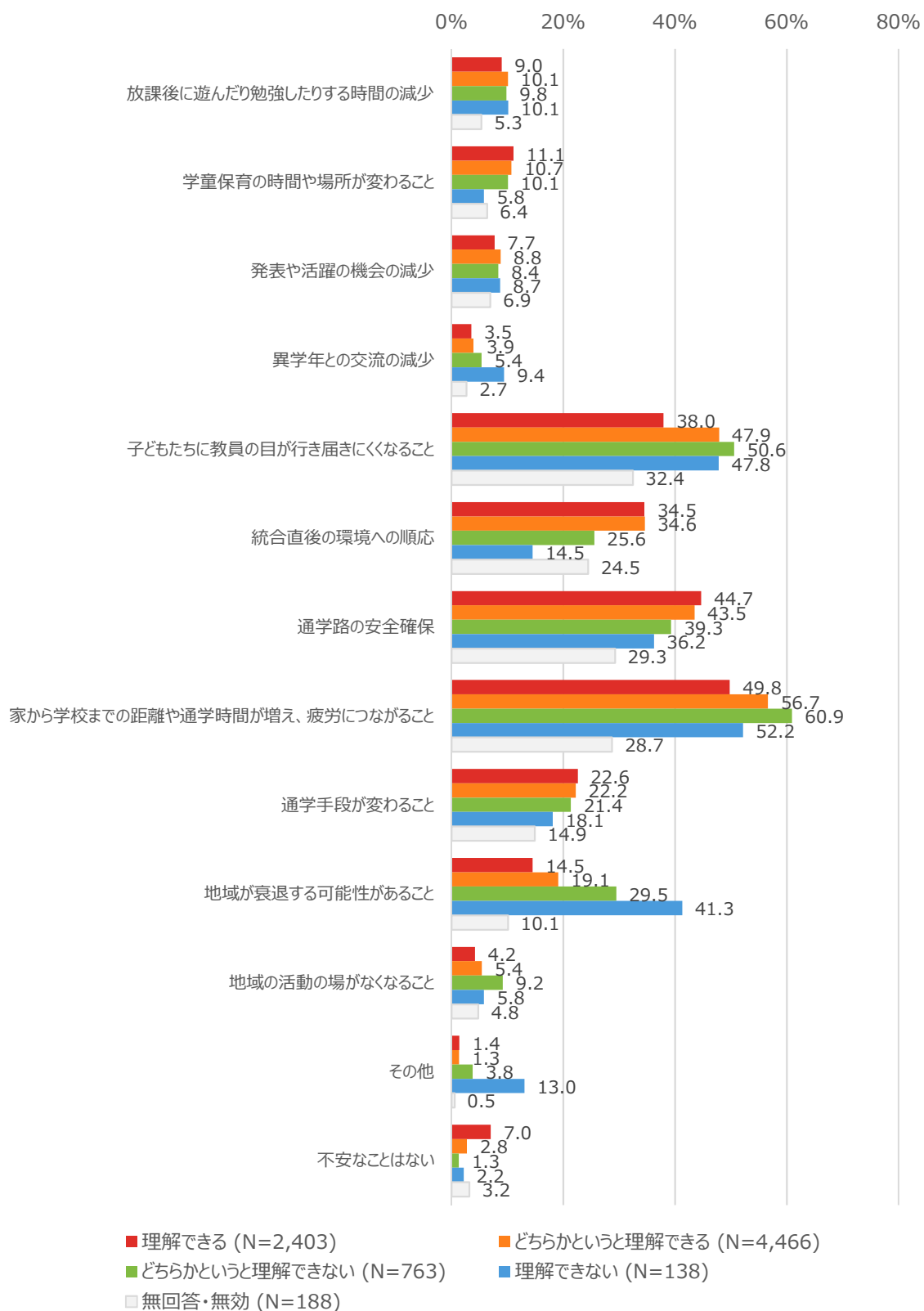
縦軸	問5（学校再編への理解度）（SA）
横軸	問7（学校再編への不安）（MA）

- ・ 学校再編で不安に思うことに対する回答者割合は、その理解度に関わらず、概ね同様の傾向となった。
- ・ 一方、学校再編について「理解できない」とした保護者においては、学校再編への不安として「地域が衰退する可能性があること」を挙げる割合が高い傾向を示した。

上段：回答者数（N）、下段：割合（%）

選択肢		放課後に遊んだり勉強したりする時間の減少	学童保育の時間や場所が変わること	発表や活躍の機会の減少	異学年との交流の減少	子どもたちに教員の目が行き届きにくくなること	統合直後の環境への順応	通学路の安全確保
全体	7,958 (100.0)	766 (9.6)	843 (10.6)	667 (8.4)	319 (4.0)	3,565 (44.8)	2,636 (33.1)	3,422 (43.0)
理解できる	2,403 (100.0)	216 (9.0)	267 (11.1)	185 (7.7)	85 (3.5)	912 (38.0)	830 (34.5)	1,074 (44.7)
どちらかという理解できる	4,466 (100.0)	451 (10.1)	479 (10.7)	393 (8.8)	175 (3.9)	2,140 (47.9)	1,545 (34.6)	1,943 (43.5)
どちらかという理解できない	763 (100.0)	75 (9.8)	77 (10.1)	64 (8.4)	41 (5.4)	386 (50.6)	195 (25.6)	300 (39.3)
理解できない	138 (100.0)	14 (10.1)	8 (5.8)	12 (8.7)	13 (9.4)	66 (47.8)	20 (14.5)	50 (36.2)
無回答・無効	188 (100.0)	10 (5.3)	12 (6.4)	13 (6.9)	5 (2.7)	61 (32.4)	46 (24.5)	55 (29.3)

選択肢		家から学校までの距離や通学時間が増え、疲労につながる	通学手段が変わること	地域が衰退する可能性があること	地域の活動の場がなくなること	その他	不安なことはない	無回答・無効
全体	4,318 (54.3)	1,752 (22.0)	1,503 (18.9)	430 (5.4)	142 (1.8)	312 (3.9)	157 (2.0)	
理解できる	1,197 (49.8)	543 (22.6)	349 (14.5)	101 (4.2)	34 (1.4)	169 (7.0)	18 (0.7)	
どちらかという理解できる	2,530 (56.7)	993 (22.2)	853 (19.1)	242 (5.4)	60 (1.3)	124 (2.8)	59 (1.3)	
どちらかという理解できない	465 (60.9)	163 (21.4)	225 (29.5)	70 (9.2)	29 (3.8)	10 (1.3)	13 (1.7)	
理解できない	72 (52.2)	25 (18.1)	57 (41.3)	8 (5.8)	18 (13.0)	3 (2.2)	4 (2.9)	
無回答・無効	54 (28.7)	28 (14.9)	19 (10.1)	9 (4.8)	1 (0.5)	6 (3.2)	63 (33.5)	



(問 7「無回答・無効」157 人はグラフには非表示)



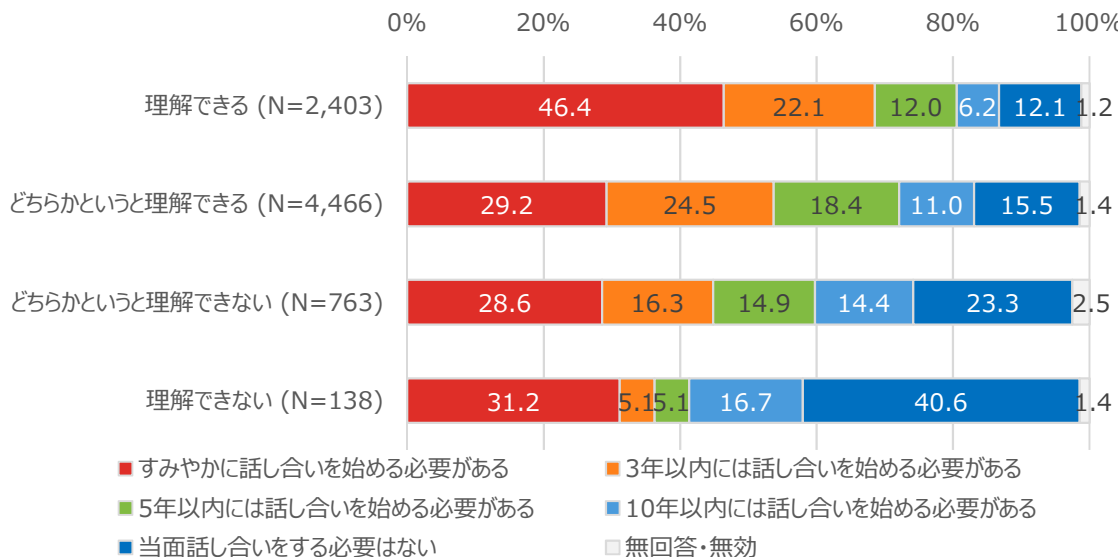
## 2. 話し合いの必要性や時期に対する認識

縦軸	問5（学校再編への理解度）（SA）
横軸	問9（話し合いの必要性や時期に対する認識）（SA）

- ・ 学校再編について「理解できる」とした保護者の46.4%が、「すみやかに話し合いを始める必要がある」と回答した。
- ・ 一方、「理解できない」とした保護者の40.6%が、「当面話し合いをする必要はない」と回答した。

上段：回答者数（N）、下段：割合（%）

選択肢		すみやかに話し合いを始める必要がある	3年以内には話し合いを始める必要がある	5年以内には話し合いを始める必要がある	10年以内には話し合いを始める必要がある	当面話し合いをする必要はない	無回答・無効
全体	7,958 (100.0)	2,714 (34.1)	1,776 (22.3)	1,257 (15.8)	784 (9.9)	1,249 (15.7)	178 (2.2)
理解できる	2,403 (100.0)	1,115 (46.4)	532 (22.1)	289 (12.0)	148 (6.2)	290 (12.1)	29 (1.2)
どちらかという理解できる	4,466 (100.0)	1,304 (29.2)	1,094 (24.5)	822 (18.4)	490 (11.0)	692 (15.5)	64 (1.4)
どちらかという理解できない	763 (100.0)	218 (28.6)	124 (16.3)	114 (14.9)	110 (14.4)	178 (23.3)	19 (2.5)
理解できない	138 (100.0)	43 (31.2)	7 (5.1)	7 (5.1)	23 (16.7)	56 (40.6)	2 (1.4)
無回答・無効	188 (100.0)	34 (18.1)	19 (10.1)	25 (13.3)	13 (6.9)	33 (17.6)	64 (34.0)



(問5「無回答・無効」188人はグラフには非表示)

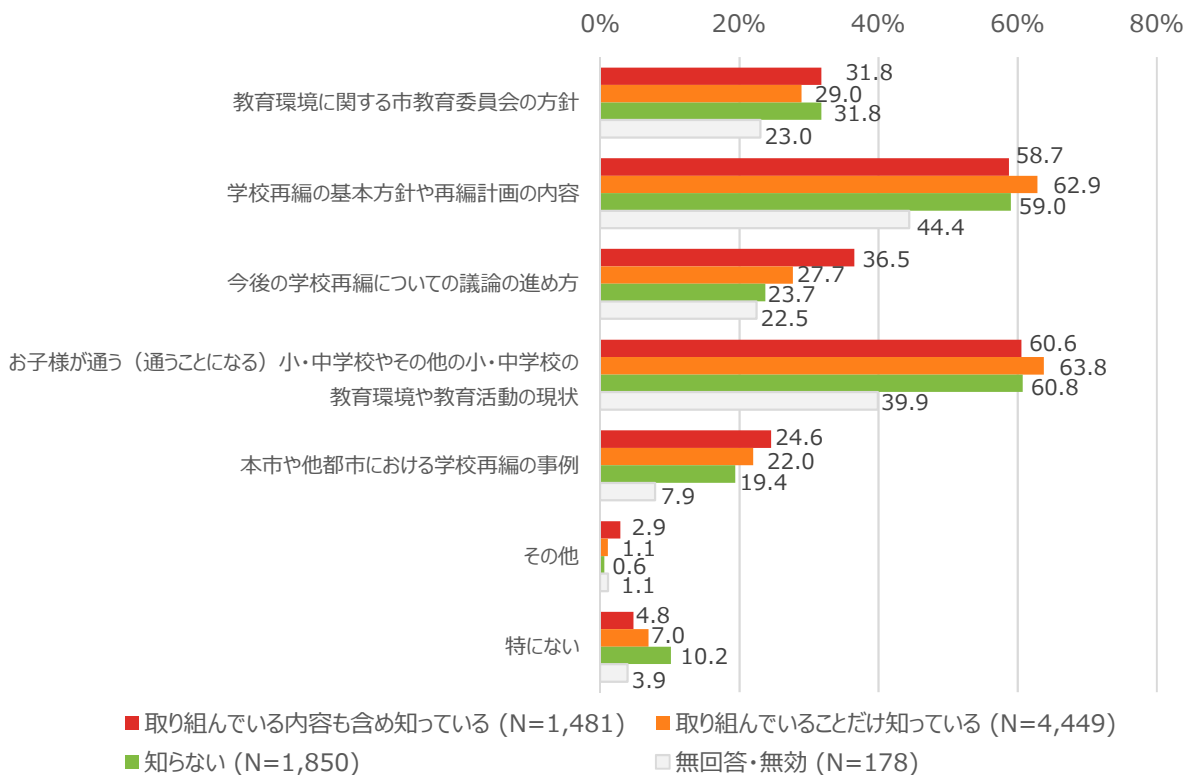
### 3. 教育環境・学校再編について知りたいこと

縦軸	問 4 (学校再編の認知度) (SA)
横軸	問 11(1) (知りたいこと) (MA)

- 学校再編の認知度に関わらず、「お子さまが通う（通うことになる）小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状」、「学校再編の基本方針や再編計画の内容」が知りたいと回答した保護者が多かった。
- 「取り組んでいる内容も含め知っている」とした保護者の 36.5%が、「今後の学校再編についての議論の進め方」を知りたいと回答した。

上段：回答者数 (N)、下段：割合 (%)

選択肢		教育環境に関する市教育委員会の方針	学校再編の基本方針や再編計画の内容	今後の学校再編についての議論の進め方	お子様が通う（通うことになる）小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状	本市や他都市における学校再編の事例	その他	特にない	無回答・無効
全体	7,958 (100.0)	2,388 (30.0)	4,838 (60.8)	2,252 (28.3)	4,929 (61.9)	1,716 (21.6)	105 (1.3)	576 (7.2)	174 (2.2)
取り組んでいる内容も含め知っている	1,481 (100.0)	471 (31.8)	870 (58.7)	541 (36.5)	897 (60.6)	364 (24.6)	43 (2.9)	71 (4.8)	16 (1.1)
取り組んでいることだけ知っている	4,449 (100.0)	1,288 (29.0)	2,797 (62.9)	1,232 (27.7)	2,837 (63.8)	979 (22.0)	49 (1.1)	310 (7.0)	60 (1.3)
知らない	1,850 (100.0)	588 (31.8)	1,092 (59.0)	439 (23.7)	1,124 (60.8)	359 (19.4)	11 (0.6)	188 (10.2)	41 (2.2)
無回答・無効	178 (100.0)	41 (23.0)	79 (44.4)	40 (22.5)	71 (39.9)	14 (7.9)	2 (1.1)	7 (3.9)	57 (32.0)



(問 11(1)「無回答・無効」174 人はグラフには非表示)

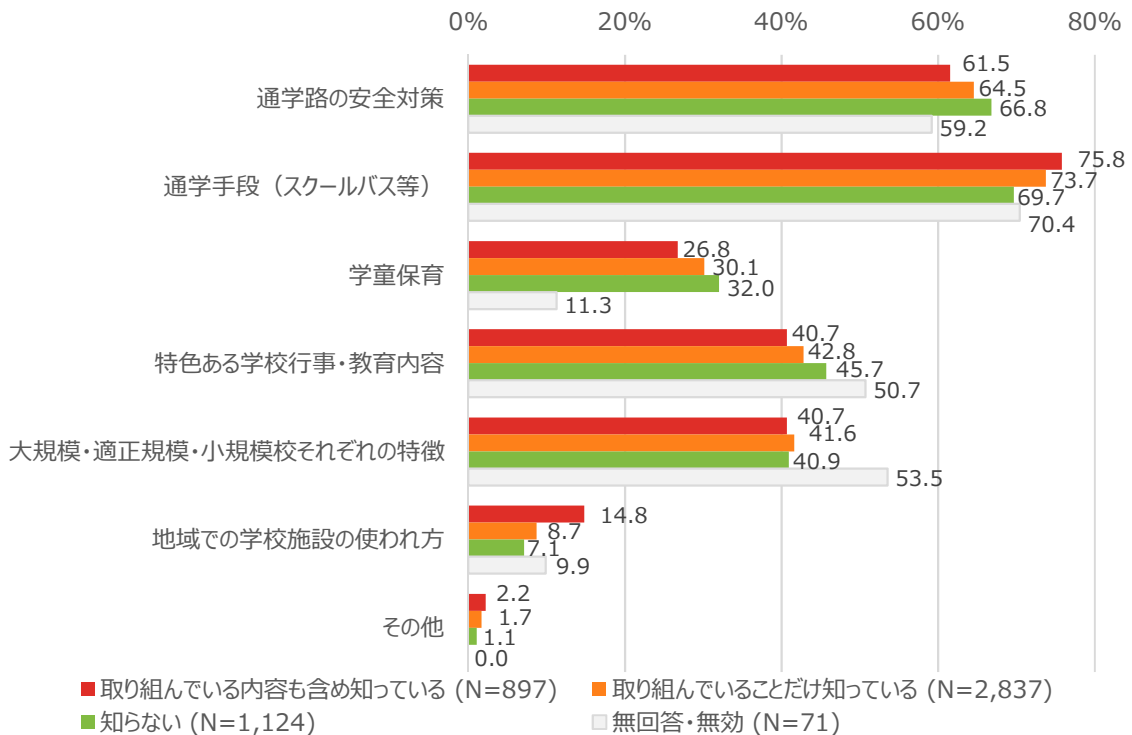
縦軸	問 4 (学校再編の認知度) (SA)
横軸	問 11(2) (具体的に知りたいこと) (MA)

※ 問11(2)は、問11(1)知りたいことにおいて「④お子様を通う(通うことになる)小・中学校やその他の小・中学校の教育環境や教育活動の現状」を選択した保護者に対し、さらに具体的に知りたいことを確認した。

- 学校再編の認知度に関わらず、「通学手段(スクールバス等)」、「通学路の安全対策」を具体的に知りたいとする回答が多かった。

上段：回答者数(N)、下段：割合(%)

選択肢	通学路の安全対策	通学手段(スクールバス等)	学童保育	特色ある学校行事・教育内容	大規模・適正規模・小規模校それぞれの特徴	地域での学校施設の使われ方	その他	無回答・無効
全体	4,929 (100.0)	3,176 (64.4)	3,605 (73.1)	1,463 (29.7)	2,130 (43.2)	2,044 (41.5)	468 (9.5)	80 (1.6)
取り組んでいる内容も含め知っている	897 (100.0)	552 (61.5)	680 (75.8)	240 (26.8)	365 (40.7)	365 (40.7)	133 (14.8)	20 (2.2)
取り組んでいることだけ知っている	2,837 (100.0)	1,831 (64.5)	2,092 (73.7)	855 (30.1)	1,215 (42.8)	1,181 (41.6)	248 (8.7)	48 (1.7)
知らない	1,124 (100.0)	751 (66.8)	783 (69.7)	360 (32.0)	514 (45.7)	460 (40.9)	80 (7.1)	12 (1.1)
無回答・無効	71 (100.0)	42 (59.2)	50 (70.4)	8 (11.3)	36 (50.7)	38 (53.5)	7 (9.9)	0 (0.0)



(問 11(2)「無回答・無効」38人はグラフには非表示)